

音楽科、 それは学校全体を支える エネルギー

人類は言葉や数字を使い始めるはるか前から歌っていたといわれています。
音や音楽は瞬時に消えていき、目にも見えず、この手で触れることもできません。
しかし、最も古くから人間とともに歩んできた、かけがえのない「確かな世界」なのです。

共感、共有、響き合い…。そこから生まれる感動。
感動は創造の源であり、意欲や主体性につながるもの。
今こそ、この「確かな世界」が学校教育の中で生かされるときではないでしょうか。

——生徒が変わり、学校が輝いていく。
音楽はすべての教科から学ぶことができ、すべての教科の学びに影響を与えます。
学校生活全体を支えるエネルギーが、音楽科には満ちあふれているのです。



改訂の 3 つの柱

I

確実に学べます

- ▶ 小学校での学習内容を系統的に発展
- ▶ 学習内容を明確化

II

「共に生きる力」を育てます

- ▶ 主体性や創造性を育むうえで大切な「創作」を充実
- ▶ 道徳教育へのアプローチ

III

グローバルな時代に対応していく力を育てます

- ▶ 我が国や郷土を愛する心の育成
- ▶ 他国の文化を尊重し理解する心の育成

確かな学びと、共に生きる力。
 グローバル化の時代を生きる生徒たちへのメッセージとして、
 新しい教科書の表紙は、
 「和」と「洋」の音や音楽の出会い、融和をテーマとしました。



教育芸術社の『中学生の音楽』と『中学生の器楽』では、ユニバーサルデザインの理念に則って、教科書の果たすべき役割に正面から向き合っています。

もくじ

音楽科、それは学校全体を支えるエネルギー	2
改訂の3つの柱	4
義務教育9年間を一貫した音楽学習	6
紙面構成と「音楽学習MAP」ガイド	8
分野ごとに見る内容の特徴『中学生の音楽』	
歌唱	10
創作	14
鑑賞	18
資料	28
分野ごとに見る内容の特徴『中学生の器楽』	
器楽	22
合唱教材の変遷	34
～教科書の中の混声三部合唱曲	
ユニバーサルデザインへの取り組み	36

[資料]	年間学習指導計画作成資料	
	第1学年〈A案〉	40
	第1学年〈B案〉	42
	第2学年〈A案〉	44
	第2学年〈B案〉	46
	第3学年〈A案〉	48
	第3学年〈B案〉	50
	教材と学習指導要領との関連	
	第1学年	52
	第2学年	53
	第3学年	54
	器楽	55
	指導書の全体構成と特色	56
	拡大教科書のご案内	57
	デジタル教科書のご案内	58
	検討の観点別に見た特色	
	中学生の音楽	60
	中学生の器楽	62

※本書では、文中の煩雑さを避けるため、便宜上『中学生の音楽2・3上』は2年、『中学生の音楽2・3下』は3年と表記しています。

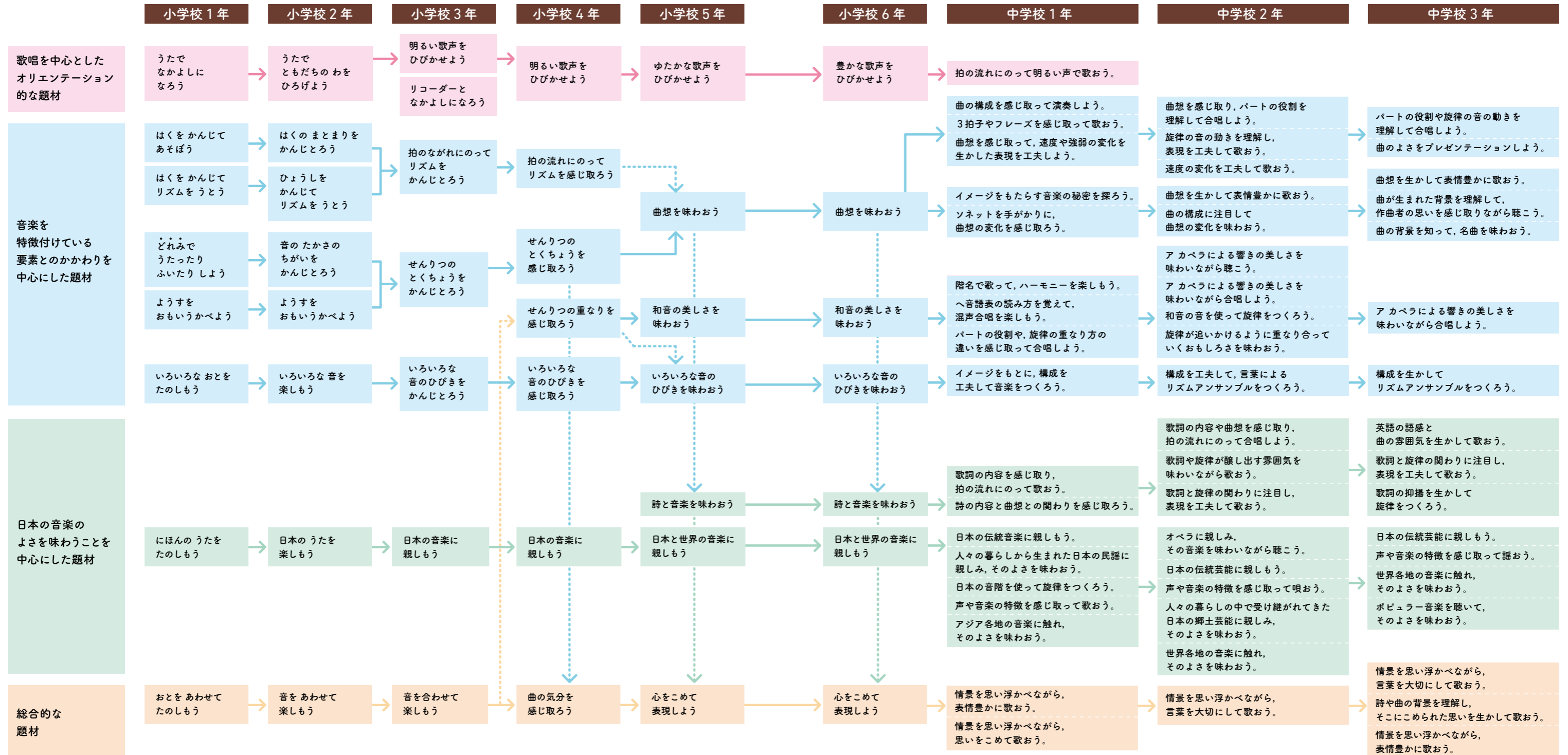
義務教育 9 年間を一貫した音楽学習

I 確かな学び II 共に生きる力 III グローバルな時代に対応

小学校と中学校の学習内容の系統性

新しい『中学生の音楽』では、小学校で学習する内容を系統的に発展させて学習することができるよう配慮し、小学校とのスムーズな関係を図りました。

- ・小学校の内容は、教育芸術社発行『小学生の音楽』（平成 27 年度版）における「題材名」を、中学校の内容は『中学生の音楽』における教材の「学習目標」を示しています。
- ・小学校における鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏に関する題材は、『中学生の音楽』の内容につながります。



紙面構成と「音楽学習 MAP」ガイド

I 確かな学び II 共に生きる力 III グローバルな時代に対応

学習内容が明確に分かる紙面構成

「何を目標に」「具体的にどのような活動をして」「何を学ぶのか」を紙面ごとに明確に示しました。

例

学習目標

学習指導要領に示された学習内容の徹底を図ります。

主な学習の窓口

「音楽学習MAP」に明示したアイコンを本文中にも示しました。

吹き出し(活動のヒント)

思考・判断・表現への指針となる問いかけを示す重要な役割を担います。

主な学習の窓口

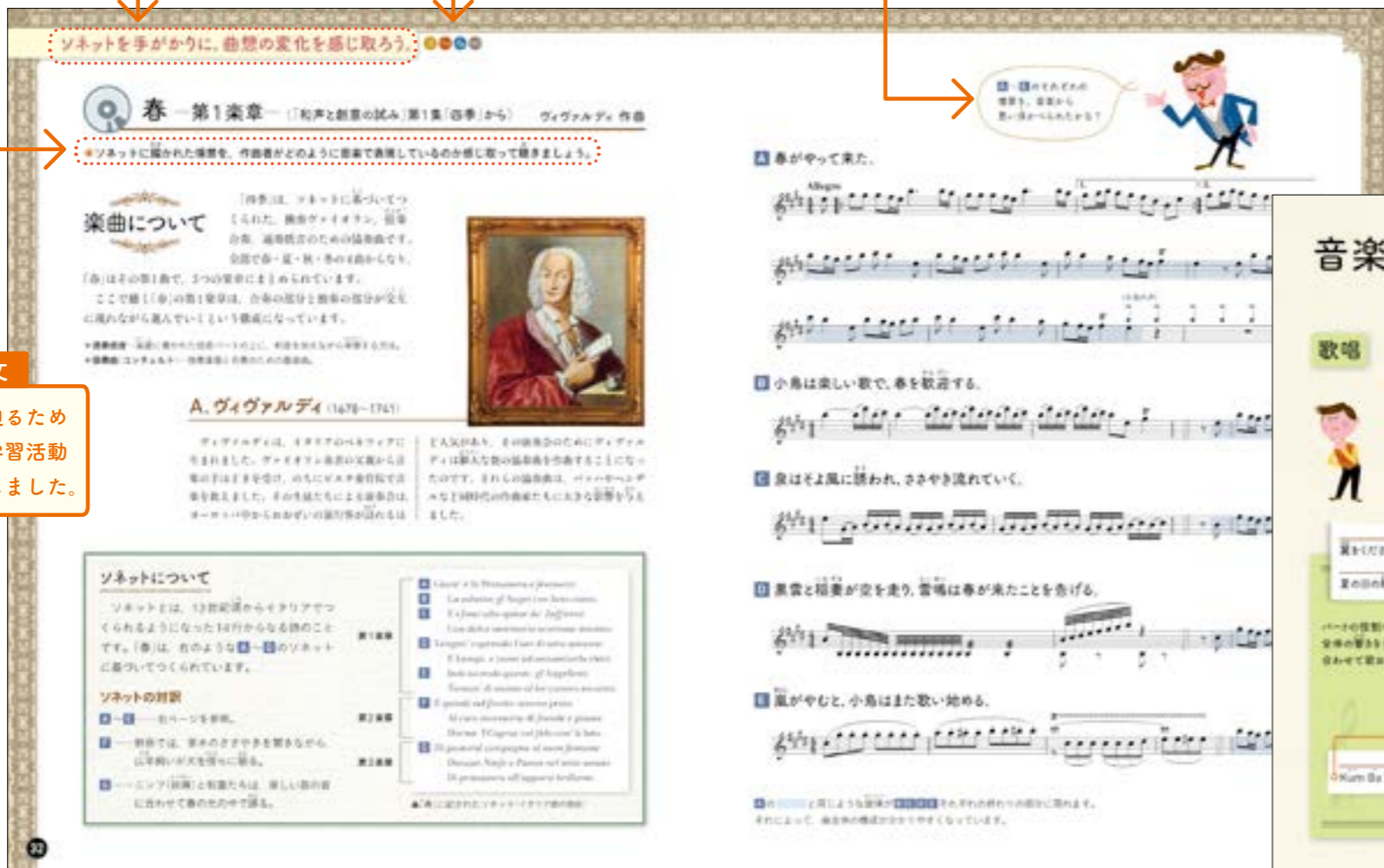
各教材と学習指導要領に示された「共通事項」との関連をアイコンで表し、各教材の学習目標等に準じて例示しました。

学習指導要領に示された学習内容

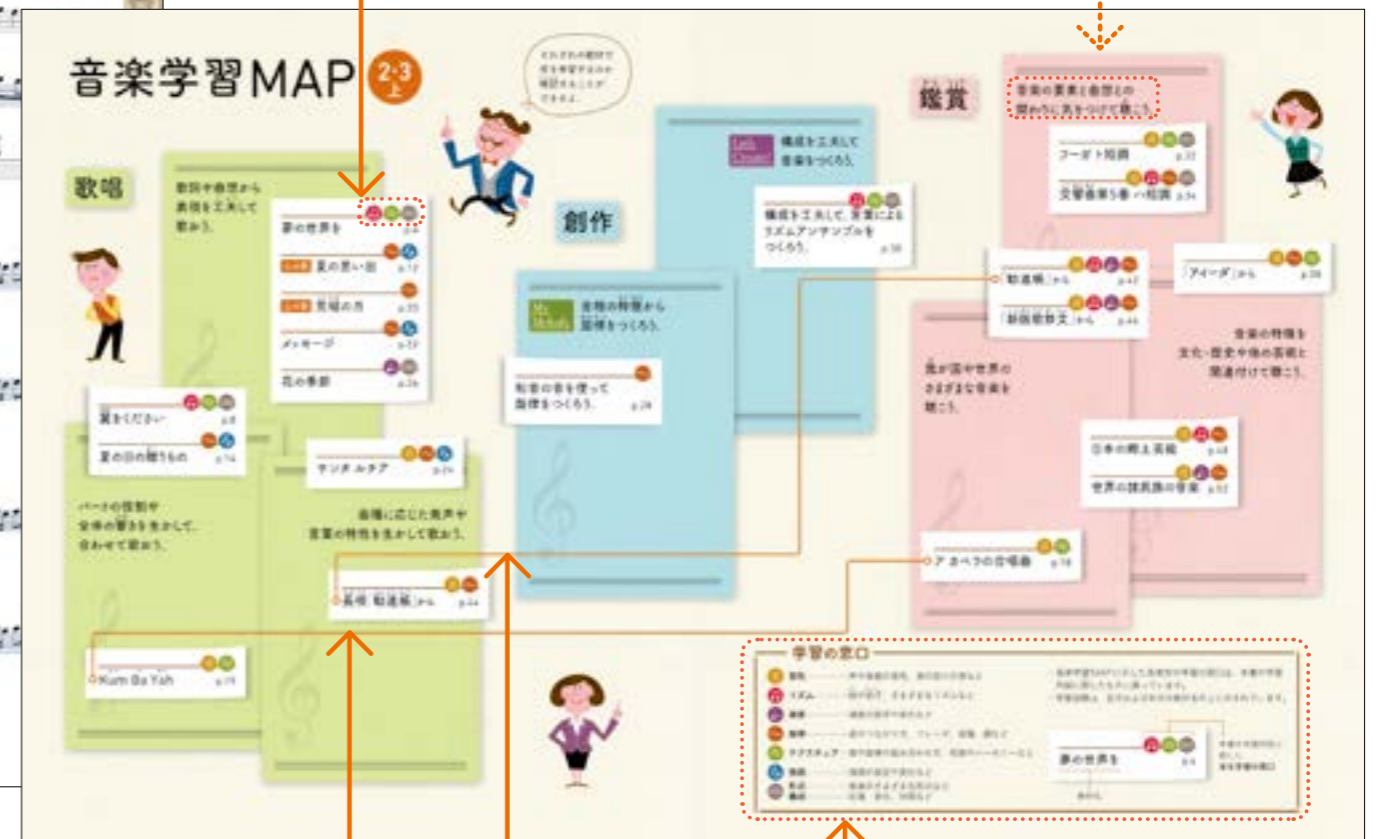
学習指導要領の「内容」に示されたいわゆる「指導事項」を生徒が理解しやすい簡潔な言葉で言い換えました。「音楽学習MAP」では、各教材と「指導事項」の関係を示すことによって指導計画に一貫性をもたせることができます。

活動文

学習目標に迫るための具体的な学習活動や手順を示しました。



▲1年p.32



▲2年p.2

分野を横断した関連

学習の窓口

*ユニバーサルデザインとの関連についてはp.36, 37でご説明します。

歌唱 1

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

我が国の伝統的な歌唱や長い間歌い継がれてきた日本の歌を数多く取り上げ、我が国の音楽文化に触れることのできる機会を増やしました。

我が国の伝統的な歌唱の充実

鑑賞の学習とリンクして

学習目標と具体的な活動を示し、学習を無理なく進めることができるようにしています。聴いてまねることで、それぞれの曲にふさわしい発声を感じ取ることができます。また、声の特徴に関連する「コブシ」や「唄い尻」、「産字」などの言葉の意味や留意点などをしっかりと示しています。

▼1年p.46

1年 ソーラン節

2年 長唄「勸進帳」から

▼3年p.42

3年 能「羽衣」から

3年 平調「越天楽」

共通教材「心の歌」の扱い

縦書き歌詞を全曲に掲載

1年p.24

▲2年p.20

作詞者や作曲者の言葉

「作詞者や作曲者の言葉」などを掲載し、曲の背景を理解して、より深く味わうことができるようにしています。

「歌い継ごう日本の歌」の新設

小学校で学習した歌を合唱で

▼1年p.54

1年 夕焼小焼

▼2年p.56

2年 夏は来ぬ

▼3年p.54

1~3年 ふるさと

既習曲を中学生にふさわしい混声合唱に編曲し、お年寄りや他の国との交流、行事などで、日本の美しさやよさを伝えることができるようにしています。「ふるさと」は、編曲が異なる各学年を合わせて全校合唱としても扱えます。

歌唱 2

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

難易度や教材性を吟味し、魅力あふれる教材を開発、選定して、誰もが無理なく、学習内容に迫ることができるようにしました。

表現を工夫して歌う能力の育成

パートの役割と曲の構成を考えて

曲の構成を、パートの役割や旋律、強弱などから考えて、それを豊かな表現へとつないでいくことができるようにしています。

▼1年 p.20

パート	役割
ソプラノ	メロディ
アルト	リズム
テノール	ハーモニー
バス	ベース

▲2年 p.8~10

パート	役割
ソプラノ	メロディ
アルト	リズム
テノール	ハーモニー
バス	ベース

Grade up!

パートの役割と曲の構成

Step 1

Step 2

パートの役割と旋律の重なり方を考えて

パートの役割や旋律の重なり方を楽譜から読み取り、それを豊かな表現へとつないでいくことができますようにしています。

思いや意図をもって

「歌詞や曲想から表現を工夫する」教材を、各学年充実させました。

▲3年 p.20

▼2年 p.22

▼1年 p.22

仲間とともに合唱する喜び

声を合わせて

授業はもちろんのこと、合唱祭や行事などで、仲間とともに心を合わせて歌うことのできる魅力あふれる合唱曲を、本文や巻末の合唱コーナー「心通う合唱」で数多く取り上げています。

▼2年 p.4

▲1年 p.4

▲3年 p.25

《心通う合唱》

図①②それぞれの部分で、歌詞の感じ、リズムや調、音の重なり方などが変化しています。それらの特徴を感じ取り、各部分にふさわしい表現を工夫しましょう。

曲の特徴や歌う際のポイントを、〔共通事項〕と関連させながら簡潔に示しています。

《心通う合唱》掲載曲

- 1年：Forever / いつか / unlimited(アンリミテッド) / てのひら / 星座 / 夢を追いかけて / マイ バラード / あすという日が / 青春の1ページ / Let's Search For Tomorrow
- 2年：今 この時 / さくら草 / 風をみつけて / 心の中にきらめいて / 今日は君のBirthday / 大切なもの / 時の旅人 / 蛍の光
- 3年：青空 / いつまでも / 美しい約束 / 旅立ちの日 / 大地讃頌 / 名づけられた葉 / 仰げば尊し

創作 1

I 確かな学び
II 共に生きる力
III グローバルな時代に対応

My Melody 学習内容や活動の手順を簡潔に示し、言葉や音階の特徴から表現を工夫して旋律をつくる活動を、限りある授業時数の中で確実に行うことができるようにしました。

1年 民謡音階を使った旋律づくり

音を選んで

「日本の民謡」の鑑賞と民謡「ソーラン節」の歌唱で触れた民謡音階をもとに、簡単な旋律をつくる活動が分かりやすく示されています。



▲1年 p.44

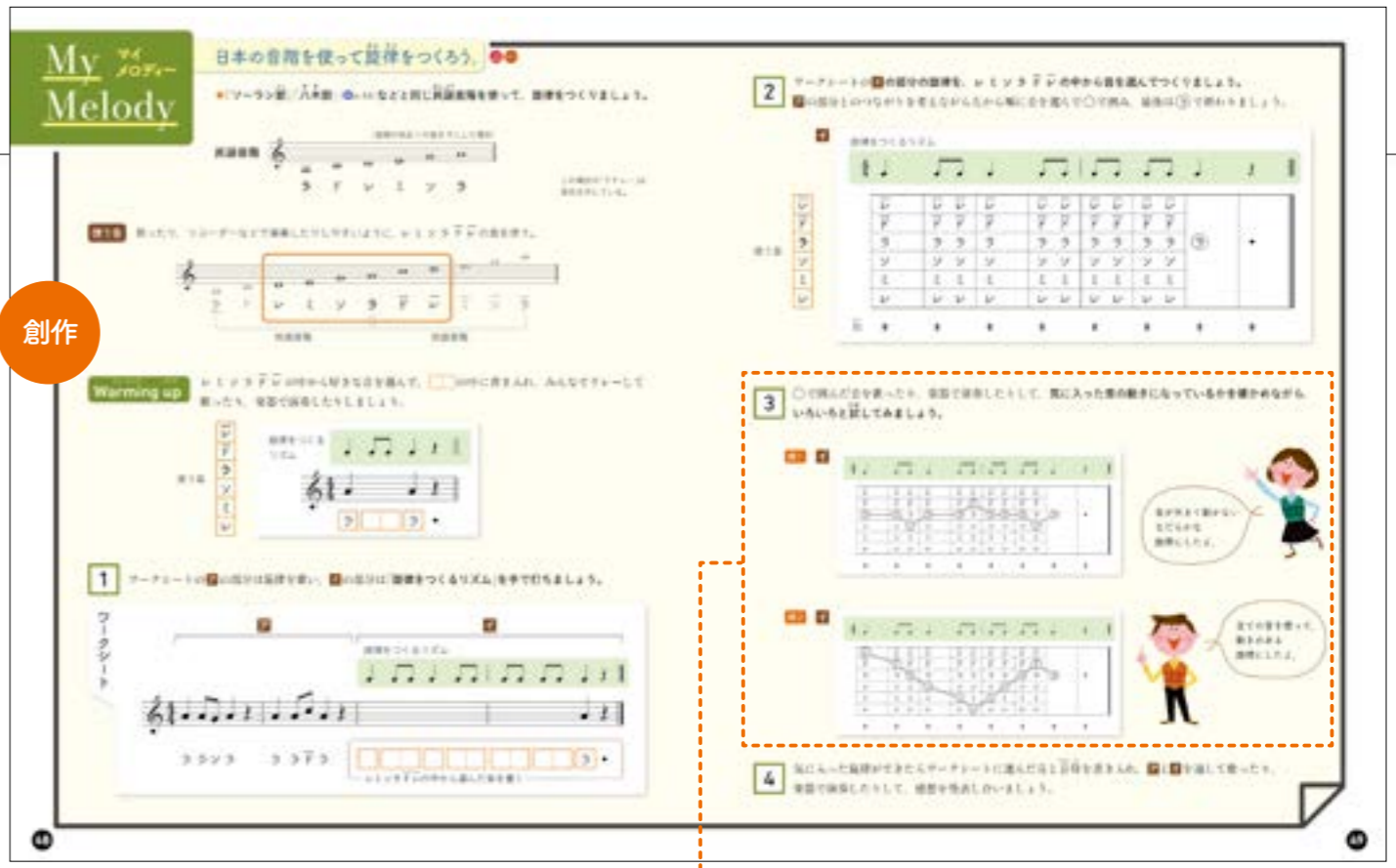
鑑賞



▲1年 p.46

歌唱

創作



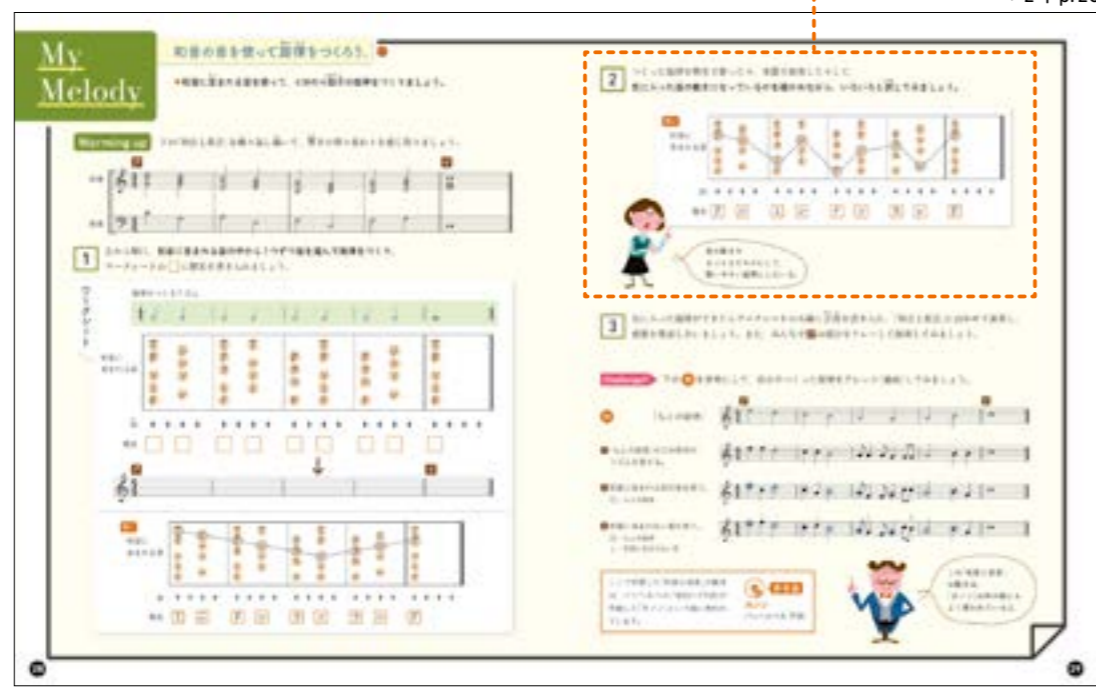
▲1年 p.48

自分のイメージと重ね合わせながら、試行錯誤して旋律をつくる活動

2年 和音に含まれる音を使った旋律づくり

響きの移り変わりを感じて

和音に含まれる音の中から音を選んで旋律をつくる活動が分かりやすく示されています。

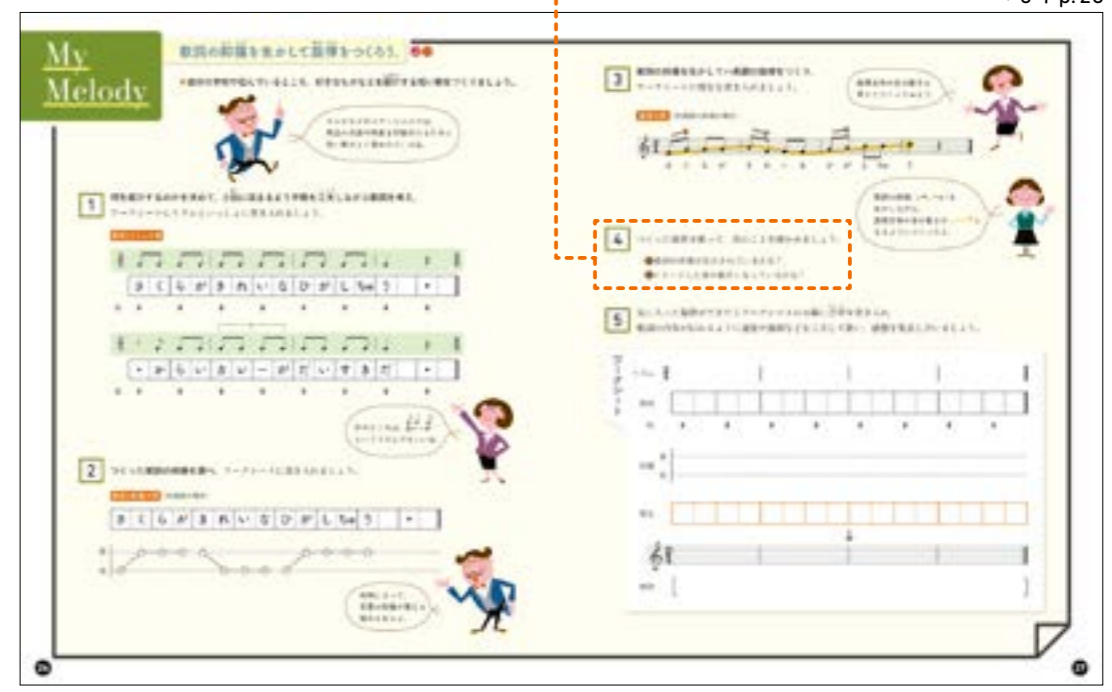


▼2年 p.28

3年 言葉の抑揚を生かした旋律づくり

コマーシャルソングで

歌詞を考え、歌詞の抑揚を調べ、それを生かして旋律をつくる活動が分かりやすく示されています。



▼3年 p.26

創作 2

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

Let's Create! 学習内容や活動の手順を簡潔に示し、表現したいイメージをもって構成を工夫しながら音楽をつくる活動を、限りある授業時数の中で確実に進めることができるようにしました。

1年p.29▶



1年 場面の移り変わりを音楽で表現

イメージをもとに

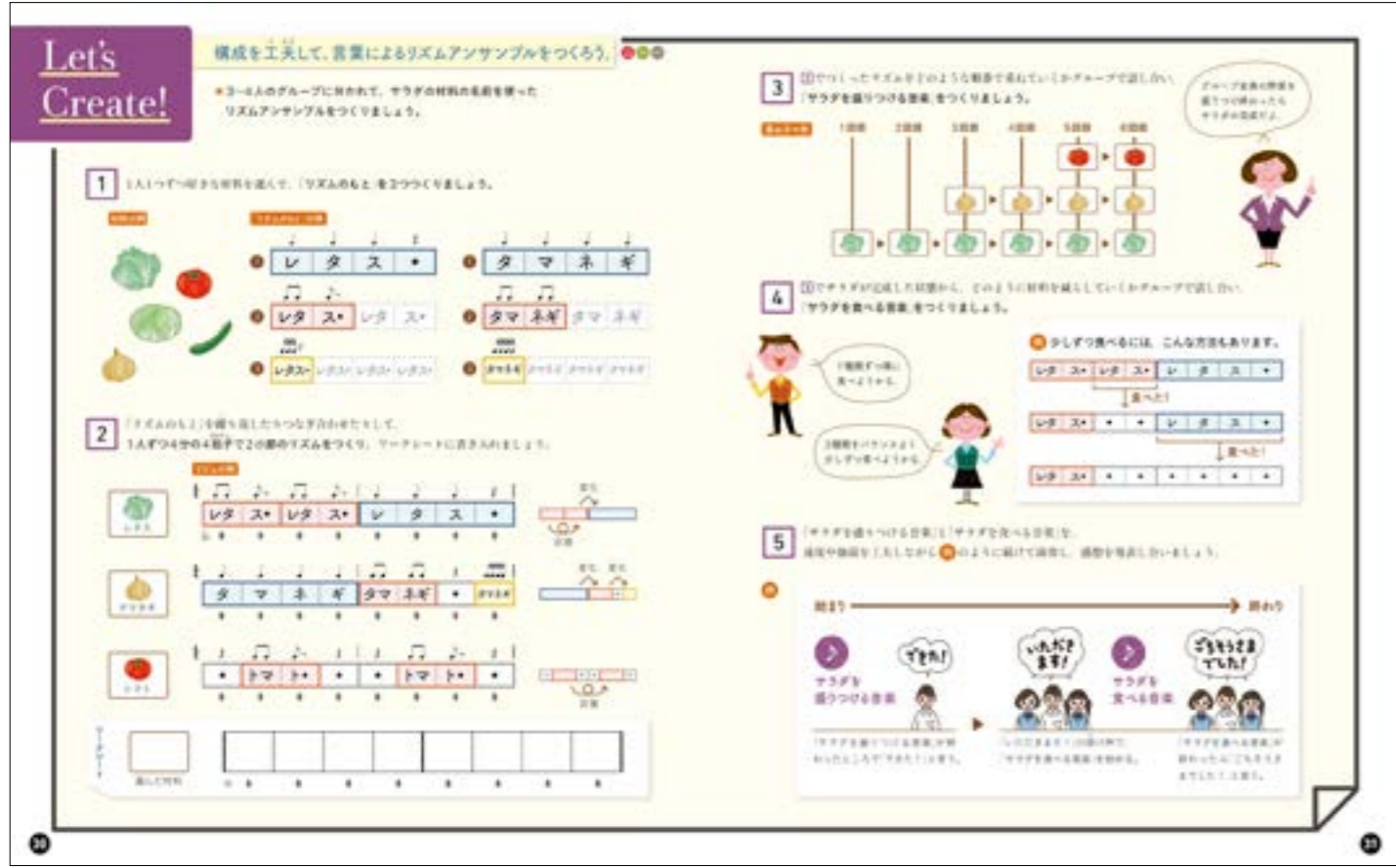
グループで基本イメージをもとに場面の移り変わりを考え、音素材の特徴を感じ取り、構成を工夫しながら音楽をつくる活動が分かりやすく示されています。

2年 言葉によるリズムアンサンブルづくり

組み合わせ方を工夫して

まず、一人ずつサラダの材料の名前からつくった3つのリズム素材を反復、変化させて、2小節のリズムをつくります。
次に、グループで「サラダを盛りつけて食べるイメージ」を共有しながら、つくったリズムの重ね方を工夫してリズムアンサンブルをつくります。
こうした一連の活動が分かりやすく示されています。

▼2年p.30



一人ずつ行う個人活動

仲間とともに協力しながら作り上げていくグループ活動



▲1年p.30

鑑賞

創作

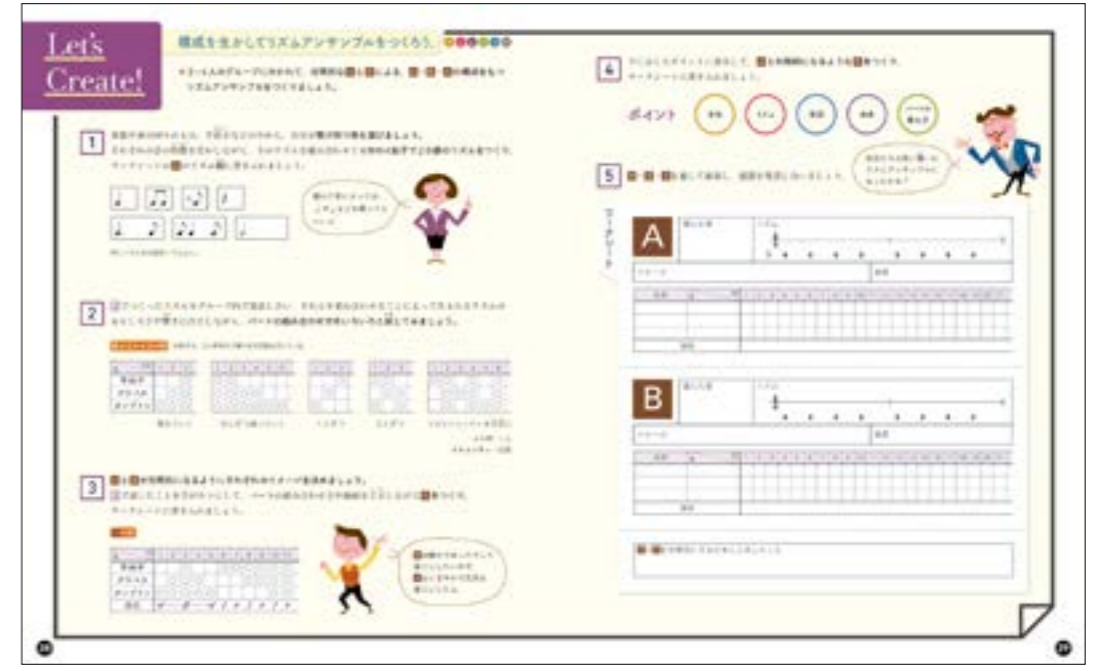
鑑賞と創作の学習が関連しています。

3年 構成を生かしたリズムアンサンブルづくり

AとBの対照を生かして

AとBが対照的になるように、音やリズムの組み合わせ方をグループで工夫しながら、A-B-Aの構成のリズムアンサンブルをつくる活動が分かりやすく示されています。

▼3年p.28



鑑賞 1

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを感じ取りながら聴いて、音楽のよさや美しさを味わうことができました。

▼1年 p.36

このページは、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の第1楽章「魔王」の楽譜と解説が掲載されています。楽譜には、音の強弱やリズムの形が注釈で説明されています。

音の高さや伴奏の形、強弱の変化などに注目して、曲をより深く味わうことができますようにしています。

▲1年 p.38

このページは、作曲家の紹介と楽譜の分析が中心です。「ここ注目してみよう!」というセクションがあり、音の強弱やリズムの形に注目するよう促されています。また、F.P. シューベルトとJ.W.V. グーテの肖像画も掲載されています。

日本人としての自覚を促して

西洋の音楽史を、日本の歴史の視点からもとらえることができるようにしています。

日本の出来事との比較「この頃、日本では…!」

発展的学習
この頃、日本では…!?



主体的に鑑賞する能力の育成 2

形式と曲想とのかかわりを感じ取って

このページは、交響曲第5番「運命」の楽譜と、曲の構成や主題の反復・変化などに注目するよう促す解説が掲載されています。楽譜には、曲の構成や主題の反復や変化などに注目するよう促す注釈が添えられています。

▲2年 p.34

曲の構成、主題の反復や変化などに注目して、曲をより深く味わうことができますようにしています。

▲2年 p.36

根拠をもって批評する

言語活動を促して

曲趣の異なる3つの曲の中から気に入った曲を選び、〔共通事項〕と関連させながらプレゼンテーションすることができるようにしています。

このページは、組曲「展覧会の絵」の楽譜と、共通事項をまとめた表が掲載されています。表には、曲名、作曲者、曲の構成、主題の反復や変化などが記載されています。

▼3年 p.30

鑑賞 2

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽については、音楽の特徴やよさ、及びその多様性を感じ取りながら聴いて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深めることができました。

日本の伝統音楽の扱い

音色に耳を澄まして

音楽を形づくっている諸要素を通して音楽の特徴を理解するとともに、音楽の背景にある文化・歴史などにも興味・関心・意欲をもって学習を進めることができるようにしています。

興味・関心をもって学習に取り組めるように、歴史などの音楽の背景や、楽曲及び作曲者について解説しています。

▼1年p.40

箏特有の音色の変化について解説しています。

箏の伝統的な記譜法を2種類例示しています。

「序破急」について解説しています。指導計画の作成と内容の取扱い2(8)に示された用語は、それらを扱うのに適した教材を通して理解できるようにしています。

「間」：1年p.42「鶯鶯鈴慕」
「動機」：2年p.34「交響曲第5番ハ短調」など

日本の伝統芸能の扱い

ポイントを絞って

鑑賞する場面の聴きどころを写真とともに明示しています。音楽の背景を知り、音楽の諸要素を通してその特徴を感じ取ることができますようにしています。

場面と写真がリンクしています。

▲2年p.42

日本の民謡・世界の諸民族の音楽の扱い

日本人としての自覚を促して

聴くポイント

▼1年p.44

比較を促す「吹き出し」

▼2年p.52

それぞれの曲には、聴くポイントを「共通事項」と関連させながら簡潔に示しています。また、世界の諸民族の音楽では、我が国の音楽との比較を促す「吹き出し」を設定し、「世界の中の日本」という発想を常に意識することができるようにしています。

器楽 1

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

Let's play instruments! リコーダーやギター、和楽器などの演奏の仕方を、豊富な写真やイラストを用いて分かりやすく解説し、基礎的な奏法を確実に身に付けることができました。

基礎的な奏法を身に付けて演奏する能力の育成

演奏する楽しさを知って

「リコーダー」「ギター」「箏」「三味線」「太鼓」「篠笛」「尺八」「打楽器」を取り上げ、「楽器への憧れや思い」を引き出すことができるように、第一線で活躍しているプレイヤーがモデルとして登場しています。



リコーダー

▼ 器楽 p.3・5



尺八

▲ 器楽 p.44



箏

▲ 器楽 p.24・27

打楽器

新たに打楽器のコーナーを設定し、『中学生の器楽』で扱われる打楽器の基本的な奏法を解説しています。

[掲載楽器]

- クラベス/シェーカー/カウベル/アゴゴー/ボンゴ/コンガ/カステネット/タンブリン/鈴/シンバル/小太鼓/大太鼓



ギター

▼ 器楽 p.16・19



楽器の特徴をとらえる「音を聴いて確かめよう」

音色に注目して

「音色」に焦点を当てて楽器の特徴を理解することで、より豊かな表現を工夫することができます。



▲ 器楽 p.27



▲ 器楽 p.36

器楽 2

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

Ensemble seminar 『中学生の音楽』の本文と同様に、学習目標とそれに迫るための学習活動やその手順を明確に示し、〔共通事項〕と関連させながら学習内容を深めることができるようにしました。

▼器楽 p.52

表現を工夫して演奏する能力の育成

アーティキュレーションを工夫して

アーティキュレーションを曲想から考えて、それを豊かな表現へとつないでいくことができるようにしています。

パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。

ラヴァーズ コンチェルト

パートの役割と全体の響きとの関わりを捉えて、全体のバランスに気をつけながら演奏しよう。

ここが分かれば Grade up!

パートの役割

Step 1

- ①のパートは主旋律です。②のパートについて、旋律やリズム、音の高さなどの特徴を調べてそれぞれの役割を考え、その役割に応じてはまるか、①のパートの動きをきかせるようにしよう。
- 主旋律をきかせるパート
- ハーモニーによって響きを支えるパート
- 低い音が全体の響きを支えるパート
- 主旋律と異なるような音程で、主旋律を裏切るパート

Step 2

①以上のグループを作り、Step 1で考えたことをもとに、それぞれのパートにふさわしい楽器を自分の側を参考に決めてみよう。

パートの役割を考えて

パートの役割を旋律やリズム、音の高さなどから考えて、それを豊かな表現へとつないでいくことができるようにしています。

曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。

聖者の行進

曲想の感じを捉え、アーティキュレーションを工夫してリコーダーで演奏しよう。

ソプラノ リコーダーの曲想

ここが分かれば Grade up!

アーティキュレーションの工夫

Step 1

「聖者の行進」の曲想の感じを捉えて、どのように演奏して曲の趣いを感じ取り、どのように演奏しようか考えてみよう。

① ②

ソプラノ リコーダーの曲想

① ②

Step 2

Step 1で考えたことをもとに、曲想を感じ取りながらアーティキュレーションを調整して決めて、2つのパートに分かれて演奏しよう。

① ②

曲想を感じ取り、演奏の仕方を工夫しよう。

アーティキュレーションを工夫することで、より曲想豊かな演奏をすることができます。

Challenge! 「名曲スナップ」の①のパートでも、アーティキュレーションを工夫して演奏しよう。

▲器楽 p.50

ソプラノ リコーダーの場合にも対応できるようにしています。

曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう。

テキーラ

打楽器の入ったCDの演奏を聞いて、曲の構成を感じ取りよう。

リズムパターンを組み合わせて中速感を工夫しながら、リズム伴奏をつくらせよう。

ここが分かれば Grade up!

曲の構成

Step 1

「テキーラ」はAの1つだけの構成で構成されています。打楽器の入ったCDの演奏を聞いて、それぞれの部分の構成の趣いを感じ取り、曲の構成を感じ取りよう。

① ② ③

Step 2

グループに分かれて、①、②、③それぞれの部分に2つのパートからリズムパターンを考えます。そのリズムパターンを組み合わせて、曲の構成に合ったリズム伴奏をつくらせよう。

リズムパターン

① ② ③

Step 3

それぞれのパートに決まったリズムパターンを捉えて、打楽器の入っていないCDの演奏に基づいてリズム伴奏を加えて演奏しよう。

① ② ③

Challenge! 「テキーラ」の①、②、③に、3つのリズムパターンを加えて演奏しよう。

▲器楽 p.54

曲の構成を感じ取って

曲の構成を旋律の違いから感じ取り、それぞれの部分に合うリズム伴奏を考えて、それを豊かな表現へとつないでいくことができるようにしています。

器楽 3

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

Ensemble 様々な楽器及び編成によるバラエティー豊かな魅力あふれるアンサンブル教材を、誰もが無理なく演奏できるように難易度などを吟味して、数多く取り上げました。

仲間とともに
合奏する
喜び

音を合わせて

曲の特徴や演奏する際のポイントなどを、「共通事項」と関連させながら簡潔に示しています。

ギター

▼器楽 p.59

▼器楽 p.56

▼器楽 p.58

リコーダー

▼器楽 p.62

▼器楽 p.66

リコーダー、ギター

▼器楽 p.74

▲器楽 p.72

▲器楽 p.76

和楽器 他

▲器楽 p.84

▲器楽 p.80

様々な楽器, 手拍子 他

アンサンブルを通して、我が国及び諸外国の様々な音楽に触れることができます。

《Ensemble》掲載曲	該当ジャンルなど
春	クラシック
ブルタバ (モルダウ)	クラシック
大きな古時計	ポピュラー音楽
Edelweiss	ポピュラー音楽 (ミュージカル)
美女と野獣	ポピュラー音楽 (映画音楽)
海に見える街	ポピュラー音楽 (映画音楽)
トリステーザ	ポピュラー音楽 (ボサノヴァ)
Yesterday Once More	ポピュラー音楽 (ポップス)
テキーラ	ポピュラー音楽 (ラテン)
Yesterday	ポピュラー音楽 (ロック)

《Ensemble》掲載曲	該当ジャンルなど
ジュッディン デデン	民族音楽 (トルコ)
コンドルは飛んで行く	民族音楽 (アンデス地方)
さくらさくら	日本古謡
「寄せの合方」によるリズムアンサンブル	長唄
星の世界	唱歌
クラッピング ラプソディ 第1番	オリジナル (手拍子)
打楽器のための小品	オリジナル (打楽器)
風によって	オリジナル (和太鼓)
MATSURI	オリジナル (祭囃子)

資料 1

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

我が国及び諸外国の音楽文化に触れることを通して、それらのよさを味わうとともに、自国の文化に誇りを持ち、他国の文化に対しても尊重する態度を養うことができました。

▼2年口絵3



2年 日本と世界の音楽文化の理解

よさや美しさを味わって

我が国の音楽文化に愛着を持ち、諸外国の音楽文化を尊重する態度を養うとともに、伝統文化の継承、協働や礼儀の大切さについても考えることができますようにしています。

▼2年口絵1

1年 明るく豊かな生活への一歩

興味・関心をもって



▲1年口絵1



▲1年口絵3

音楽との幅広い触れ合いを求める心情の育成と、日本人特有の音に対する感性に気付くとともに、環境保全の意義についても考えることができますようにしています。

異次元へと誘う壮麗な舞台



3年 国を愛する心情の育成

平和への希求とともに



▲3年口絵1



▼3年口絵3

我が国及び諸外国の伝統や文化を尊重し、世界の中の日本人としての誇りをもつとともに、平和の大切さについても考えることができますようにしています。

資料 2

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

学習活動をサポートするコーナーを必要に応じて設定し、音楽の基礎的な知識や表現の技能をはじめ、創意工夫して表現する能力を高めることができるようにしました。

ここが分かれば Grade up!

楽器	役割	演奏上の注意
1. 歌	歌詞を正確に発音し、リズムを正確に守る。	歌詞の意味を理解し、感情を込めて歌う。
2. ピアノ	伴奏の役割を果たし、リズムを正確に守る。	音量を適切にコントロールし、歌の邪魔にならないようにする。
3. ヴァイオリン	メロディラインを演奏し、リズムを正確に守る。	弓の動きを正確にし、音色を美しく出す。
4. ヴァイオリン	メロディラインを演奏し、リズムを正確に守る。	弓の動きを正確にし、音色を美しく出す。

▲3年 p.10

ここが分かれば Grade up!

理解を助ける「ここが分かれば Grade up!」
 「共通事項」と関連させて

「共通事項」と関連させながら具体的なコラムを示し、学習内容の理解と創意工夫して表現する能力を育てることができるようにしています。

実践に役立つ「My Voice!」
 「指揮をしてみよう!」
 全学年に掲載

▼1年 p.52

① 音楽を豊かに表現するために必要なこと
 ② 速度やタイミングをそろえるために必要なこと

▼1年 p.8

My Voice! 自分がもっている歌声を見つけよう!

表現の基礎的な技能や創意工夫して表現する能力を育てるために発声や指揮について取り上げ、学習活動をより効果的に進めることができるようにしています。

▼1年 p.6

リズムゲーム BINGO GAME
 下の図を使ってリズムをつくりましょう。

小学校の学習内容の確認と定着
 繰り返し学習で

小学校で学んだ内容を中学校でも扱い、1～3年で繰り返し学習することにより、学力の定着を図ることができます。

著作権を知る「ルールを守って音楽を楽しもう!」
 コピーしていいの?

音楽に関する知的財産権について問答形式で分かりやすく示し、著作物の利用について正しく理解することができるようにしています。

ルールを守って音楽を楽しもう!

▼3年 p.50

資料 3

- I 確かな学び
- II 共に生きる力
- III グローバルな時代に対応

学習活動を行うために必要な基礎的な知識や、音楽の背景となる歴史を日本と西洋とを対比させながらまとめて示し、生徒が学習内容と関連する事項を主体的に学習できるようにしました。

▼1年p.78

豊富な巻末の資料

学習の幅を広げて

我が国や諸外国の音楽の基礎的な事項などを簡潔に示し、興味・関心・意欲をもって理解を深めることができるようにしています。

▼1年口絵5・6



▼3年口絵6



◀2年口絵8



▼2年口絵6

楽典のまとめ 「音楽の約束」

調べ学習で

音楽の基礎的な知識に関する事項を1～3年に簡潔にまとめて示し、学習活動を行う際の一助としています。



▲1年p.76

歴史をとらえる 「耳でたどる音楽史」

背景を知って

▼3年p.74～79



日本と西洋の音楽史の流れを時代ごとに簡潔にまとめて示し、音楽の背景を知る一助としています。

合唱教材の変遷 ～教科書の中の混声三部合唱曲

現在の中学生の音楽活動において重要な位置付けにある混声三部合唱曲。

新しい『中学生の音楽』でも、オリジナルの合唱教材の新曲を掲載しています。

教育芸術社では、音楽科教科書の中で早くから「混声三部合唱」の必要性和役割に着目し、独自の教材（オリジナルの新曲）の開発に力を注いできました。

このページでは、昭和40年代以降、教科書に歌唱教材として混声三部合唱曲をどのように掲載してきたのかについてご紹介します。

教育芸術社オリジナル教材の黎明期

昭和40年頃にはオリジナル教材を教科書に掲載し始めましたが、芸術歌曲や外国の民謡に比べて、その数は圧倒的に少ないものでした。その後、昭和50年代に入るとオリジナル教材の掲載が定着します。

昭和40～50年代初めの主な新曲

掲載年	学年	作品名	作詞者	作曲者
昭和41年度	1年	押し花	小林純一	市川都志春
昭和41年度	2年	飛べよ飛べ	久野静夫	市川都志春
昭和50年度	2年	思い出そうぼくらの心に	きくよしひろ	川崎祥悦
昭和53年度	1年	海の詩	清水凡平	川崎祥悦
昭和53年度	2年	歌おう友よ	久野静夫	市川都志春
昭和53年度	3年	山のいぶき	松前幸子	川崎祥悦

オリジナル教材以外では、どのような作品が多く掲載されてきているのか

混声三部の編成に限らず教育芸術社の中学校教科書の中で、改訂を経ながら10回以上掲載された混声合唱曲をまとめました（共通教材も含む）。

右記の作品に共通するポイントは、①学校現場からの支持が高いこと②教材性を伴っていること③コンパクトな内容で覚えやすいことといった点であり、それが長年にわたって掲載されてきた理由と考えられます。

掲載回数の多い曲

作品名	作詞者	作曲者	掲載回数
蛍の光	稲垣千穎	スコットランド民謡	13
夏の思い出	江間章子	中田喜直	13
荒城の月	土井晩翠	滝 廉太郎	13
仰げば尊し	不詳	不詳	12
旅愁	犬童球溪	オードウェイ	11
赤とんぼ	三木露風	山田耕筰	11
夢をのせて	中山知子	市川都志春	11
エーデルワイス	O. ハマースタイン2世	R. ロジャーズ	10
翼をください	山上路夫	村井邦彦	10
冬の星座	堀内敬三	ヘイズ	10
赤い川の谷間	阪田寛夫	アメリカ民謡	10

昭和50年代後半には続々とオリジナル教材が誕生

昭和56年頃から新曲の割合が増えました。その理由や背景としては、①先生方のスタンスの変化* ②中学生の体の発達（音域）や心の状況を考慮した歌詞や曲が少なかったこと等が挙げられます。

*当時はバブル景気に向かう時代でもあり「次に出る新しい曲は、もっとよい曲のはず」という風潮が浸透し始め、定着した楽曲だけでなく、新曲を積極的に扱う先生が増えました。

掲載回数の多い主なオリジナル教材

掲載年	学年	作品名	作詞者	作曲者
昭和56年度	2年	夢の世界を	美龍明子	橋本祥路
昭和56年度	3年 → 2年	若い翼は	きくよしひろ	平吉毅州
昭和59年度	3年	遠い日の歌	岩沢千早	橋本祥路
昭和56年度	2年	さよなら友よ	阪田寛夫	黒澤吉徳
昭和58年度	2年 → 1年	飛べグライダー	石桁冬樹	石桁冬樹
昭和59年度	1年	大空賛歌	桑原ほなみ	黒澤吉徳

教材の中には、左記の「若い翼」や「飛べグライダー」のように、掲載学年が変更された教材もあります。これは、主に先生方からの要望によるところが大きかったようです。掲載学年は同じでも編成が変わった教材もあります。

教材像の転換期

「Let's Search For Tomorrow」(堀 徹 作詞/大澤徹訓 作曲)が掲載された平成5年の改訂以降、以前にも増して音域への配慮や取り組みやすい楽曲が求められるようになるなど、教材の内容に変化が見られるようになりました。校内合唱コンクールの定着などの影響があると考えられます。



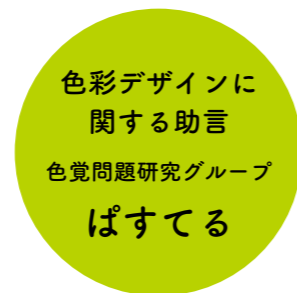
オリジナル教材の開発は続きます

現在では授業時数減少のため、新曲の指導に多くの時間をかけられないという事情もあります。長い期間支持されてきた教材を、繰り返し歌う傾向も見られます。しかし、教育芸術社では音楽科教育の出発点は質の高い教材であると考えています。全国の中学生たちが生き生きと音楽学習に取り組めることを願い、今後も音楽科教育の発展のために、教材開発と発信を力強く続けます。

1. 見やすく分かりやすいデザイン

◎学習内容や活動の手順が理解できるように、文字情報や図版などを見やすく、分かりやすく提示して、音楽科の学びを確実にとおさえていくための工夫をしました。

*教科書の紙面づくりを進めるにあたり、専門家の校閲や助言をいただいています。



◎「分かりやすい紙面」をコンセプトに、学習を進める上で大切な情報にしっかりと注目することができるようにしました。また、小学校の優しい色調を引き継ぎつつ、中学校段階に即して、重要事項がパッと目に入るシンプルなデザインを採用することで確かな学びを引き出します。

- 配置** 学習のメインとなる内容が優先的に目に入るようにしました。また、文字のバックにできるだけ絵柄がかからないようにしました。
- フォント(書体)** 過大なフォントの使い分けを避け、使用する種類を絞り込みました。大見出しや小見出し、本文などの階層が明確に分かるようにしました。
- 色使い** 煩雑感のない、すっきりと見える紙面にしました。
- 楽譜** 教科書紙面の大きさに合わせ、音符の間隔を楽曲ごとに調整しました。

*教科書に使用している紙は音楽科の特性を踏まえ、発色よい色合いながら黒さのてかりを抑制するという紙をオーダーメイドしています。

2. 一目で分かる学習ジャンル

◎学習のジャンルごとに共通したデザインを用いることで、一目で分かるよう工夫しました。

- 共通教材(心の歌)** 見開きページの両端に和の雰囲気を感じさせる絵柄を配しました。
- 創作** 見開きページの四方を太い罫線で囲みバックに色を敷きました。
- 鑑賞(西洋)** 見開きページの両端及び上側を額縁風のデザインで覆いました。
- 鑑賞(日本の伝統芸能)** 見開きページの両端及び上側を和風の色調によるデザインで覆いました。
- 鑑賞(諸民族の音楽)** バックに色を敷きました。



3. ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた教材開発 (⇒p.34, 35「合唱教材の変遷」)

◎教材開発においては、「すべての生徒が無理なく歌え、学習内容に迫ることができるように」という考え方に基づいて長年取り組んできました。文章や歌詞、楽譜の読みやすさといった紙面づくりに加え、この教材開発における取り組みは、まさにユニバーサルデザインの考え方を踏まえたものです。

1 学習目標にアプローチしやすい教材

発達段階に合わせて、技術的な難易度を設定しています。

2 生徒の心身の発達段階に応じた配慮

生徒の声帯に無理な負担がかからないよう、適切な音域を設定しています。

3 音楽的な達成感を味わえる教材

楽しさや達成感を味わうことができ、技術的に無理なく取り組めるものになっています。

4 授業時間や時数と教材の関係への配慮

限られた授業時間、時数の中で、繰り返し演奏したり聴いたりすることができるように、教科書に取り上げる楽曲の長さにも配慮しています。

5 歌いやすさ、歌詞の分かりやすさへの配慮

言葉の自然な抑揚やアクセントを生かした旋律になるように配慮しています。

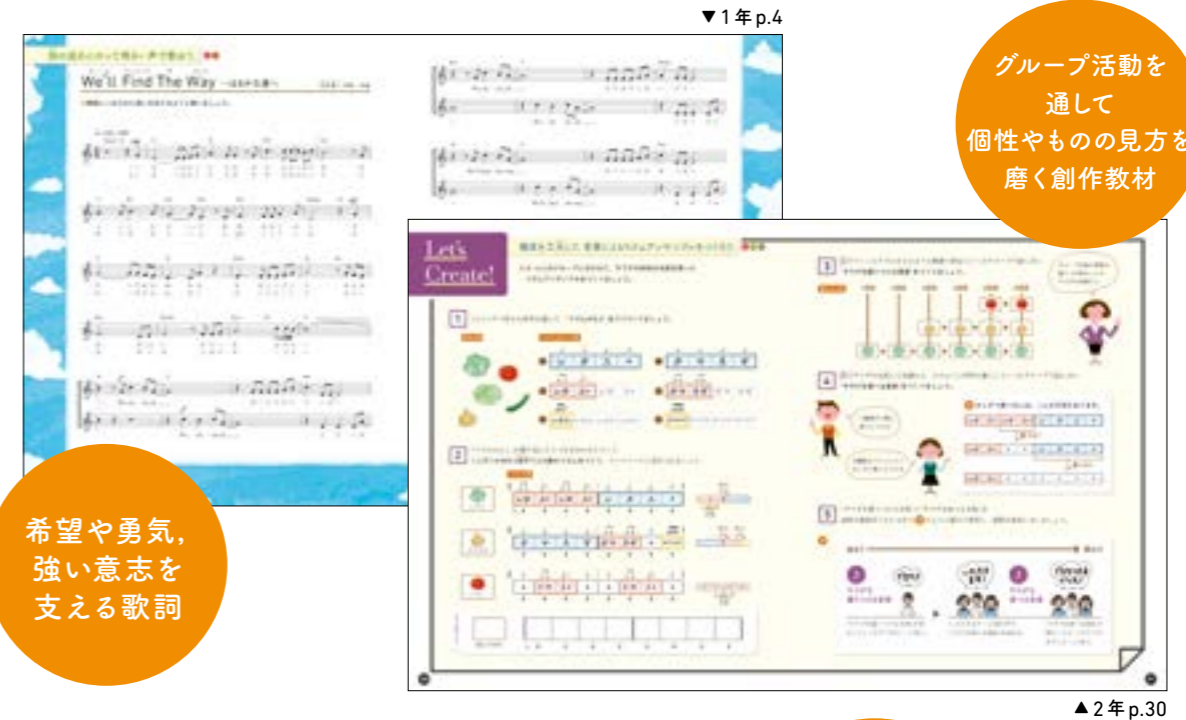
これらを実現するために……



教育芸術社は、上記の観点や生徒の実態を踏まえ、実際に教材の試演を行うなど、よりよいものに磨き上げる過程をしっかりと経て、教材開発を行っています。

4. 道徳教育や人権教育における配慮

◎命を尊び、他の人々に対する思いやりの心を持ち、友情の大切さを理解するなど、道徳教育に資する歌詞をもつ歌唱教材を取り入れました。また、我が国の伝統的な音楽や長く歌い継がれてきた日本の歌の学習を通して、日本人としての自覚をもつことができるように内容を充実させました。



▼1年p.4

▲2年p.30



▼3年p.34

命の尊さを背景にもつ鑑賞曲

「アランフェス協奏曲」から第2楽章
作曲者のロドリゴはこの第2楽章に、初めての子どもの失ったときの悲しみや妻に対する慰めなどを込めたといわれています。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計45)	道徳との関連 (例)
1学期	新しい仲間とともに、 明るい歌声を響かせよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		We'll Find The Way ～はるかな道へ My Voice!	拍の流れによって明るい声で歌おう。 自分も持っている歌声を見つけよう！	3	1 (2) 希望、勇気、強い意志
	曲の構成を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		主人は冷たい土の中に BINGO GAME RHYTHM GAME	曲の構成を感じ取って演奏しよう。 音符、休符、記号の名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	5	2 (2) 人間愛、思いやり
	イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう	●イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ●表現したい具体的なイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら場面に合う音楽をつくる。	鑑賞—ア 創作—イ	 	映画「ジョーズ」から “ジョーズのテーマ” Let's Create!	イメージをもたらず音楽の秘密を探ろう。 イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくらう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚
	音楽の特徴から情景を想像しよう	●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞—ア、イ		春—第1楽章—	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。	3	3 (2) 自然の愛護、畏敬の念
2学期	曲想や全体の響きを感じ取って、 表現を工夫しよう	●リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	器楽—イ 器楽—ア 歌唱—ア、ウ 歌唱—イ、ウ	 	◆アルトリコーダー LESSON 1 (p.3～9) ◆聖者の行進 (p.50) エーデルワイス Michael, Row The Boat Ashore	リコーダーを演奏しよう。 曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。 3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。 階名で歌って、ハーモニーを楽しもう。	5	4 (10) 世界の平和、人類の幸福 4 (4) 役割と責任の自覚
	詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう	●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞—ア		魔王	詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。	3	3 (1) 生命の尊重
	曲想やパートの役割を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を考えながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ 歌唱—ア	 	パフ 飛び出そう 未来へ	へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。 歌詞の内容を感じ取り、拍の流れによって歌おう。	3	1 (2) 希望、勇気、強い意志
	日本の民謡やアジアの諸民族の 音楽の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。 ●日本の音階の特徴を感じ取り、表現を工夫しながら簡単な旋律をつくる。	鑑賞—イ、ウ 鑑賞—イ、ウ 歌唱—イ 創作—ア	 	日本の民謡 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節 My Melody	人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。 アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 声や音楽の特徴を感じ取って歌おう。 日本の音階を使って旋律をつくらう。	6	4 (8) 郷土愛 4 (5) 勤労の尊さ、奉仕
3学期	日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア 歌唱—ア、ウ	 	心の歌 赤とんぼ (共通教材) 歌い継ごう 日本の歌	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	3	2 (2) 人間愛、思いやり 3 (2) 自然の愛護、畏敬の念
	箏曲の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ●箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ●箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。	鑑賞—イ、ウ 器楽—イ 創作—ア	 	六段の調 ◆虫づくし、姫松、さくらさくら (p.24～29) ◆ My Melody (p.30, 31)	日本の伝統音楽に親しもう。— 箏曲 — 箏を演奏しよう。 箏を平調子に調弦して旋律をつくらう。	5	4 (9) 愛国心、伝統の継承
	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア、ウ 歌唱—ア、ウ	 	カリブ 夢の旅 心通う合唱 指揮をしてみよう！	曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。 仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	5	2 (3) 友情の尊さ、信頼 4 (4) 役割と責任の自覚 他
	※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心、伝統の継承

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 ◆ … 器楽教材 (中学生の器楽)

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計45)	道徳との関連 (例)
前期	新しい仲間とともに、 明るい歌声を響かせよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		We'll Find The Way ～はるかな道へ	拍の流れによって明るい声で歌おう。	4	1 (2) 希望, 勇気, 強い意志
					My Voice!	自分もっている歌声を見つけよう!		
					BINGO GAME	音符, 休符, 記号の名前を確認しましょう。		
	イメージと音楽とのかかわりを 感じ取ろう	●イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ●表現したい具体的なイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復, 変化, 対照などの構成を工夫しながら場面に合う音楽をつくる。	鑑賞—ア		映画「ジョーズ」から 「ジョーズのテーマ」	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚
			創作—イ		Let's Create!	イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくろう。		
	曲想や曲の構成を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。 ●リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		主人は冷たい土の中に	曲の構成を感じ取って演奏しよう。	4	2 (2) 人間愛, 思いやり
			器楽—イ		アルトリコーダー LESSON 1 (p.3～9)	リコーダーを演奏しよう。		
			器楽—ア		聖者の行進 (p.50)	曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。		
	詩と音楽とのかかわりを 感じ取ろう	●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞—ア		魔王	詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。	3	3 (1) 生命の尊重
	曲想や全体の響きを感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌唱—ア, ウ		エーデルワイス	3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。	3	4 (10) 世界の平和, 人類の幸福 4 (4) 役割と責任の自覚
歌唱—イ, ウ				Michael, Row The Boat Ashore	階名で歌って、ハーモニーを楽しもう。			
日本の民謡やアジアの諸民族の 音楽の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。	鑑賞—イ, ウ		日本の民謡	人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。	5	4 (8) 郷土愛 4 (5) 勤労の尊さ, 奉仕	
		鑑賞—イ, ウ		アジアの諸民族の音楽	アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。			
		歌唱—イ		ソーラン節	声や音楽の特徴を感じ取って歌おう。			
日本の伝統音楽の特徴を 感じ取って、その魅力を味わおう	●尺八曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、尺八の音色を味わいながら聴く。 ●篠笛の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ●日本の音階の特徴を感じ取り、表現を工夫しながら簡単な旋律をつくる。	鑑賞—イ, ウ		鶯籠鈴慕	日本の伝統音楽に親しもう。一尺八曲—	5	4 (9) 愛国心, 伝統の継承	
		器楽—イ		たこたこあがれ, ほたるこい (p.42, 43)	篠笛を演奏しよう。			
		創作—ア		My Melody	日本の音階を使って旋律をつくろう。			
パートの役割や旋律の重なり方を 感じ取って、表現を工夫しよう	●へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ		パフ	へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。	4	1 (2) 希望, 勇気, 強い意志 4 (4) 役割と責任の自覚	
		歌唱—ウ		朝の風に	パートの役割や、旋律の重なり方の違いを感じ取って合唱しよう。			
				指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。			
音楽の特徴から情景を想像しよう	●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞—ア, イ		春—第1楽章—	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。	3	3 (2) 自然の愛護, 畏敬の念	
日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 浜辺の歌 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	5	2 (2) 人間愛, 思いやり 3 (2) 自然の愛護, 畏敬の念	
		歌唱—ア		心の歌 赤とんぼ (共通教材)	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。			
		歌唱—ア, ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流, 行事など, さまざまな場面で歌おう。			
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア, ウ		カリブ 夢の旅	曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。	5	2 (3) 友情の尊さ, 信頼 4 (4) 役割と責任の自覚 他	
		歌唱—ア, ウ		心通う合唱	仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱しよう。			
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心, 伝統の継承	

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 … 器楽教材 (中学生の器楽)

第2(2・3上)学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料 —

※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてB案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)	道徳との関連 (例)
1学期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		夢の世界を BINGO GAME RHYTHM GAME	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。 音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	4	2 (3) 友情の尊さ、信頼
			器楽—イ		◆アルトリコーダー LESSON 2 (p.10～13)	リコーダーを演奏しよう。		
	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら表現を工夫して合奏する。	歌唱—ア、ウ		翼をください My Voice!	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。 自分の思いを歌声にのせよう！	4	1 (2) 希望、勇気、強い意志 4 (4) 役割と責任の自覚
			器楽—ウ		◆ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。		
詩と音楽とのかかわりを理解して、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	歌唱—ア		心の歌 夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	3 (2) 自然の愛護、畏敬の念 2 (3) 友情の尊さ、信頼	
		歌唱—ア、ウ		夏の日の贈りもの	旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌おう。			
曲の構成を理解して、 曲想を味わおう	●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもとなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復、変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	鑑賞—ア		交響曲第5番 短調	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚 1 (5) 自己の向上、充実した生き方	
		創作—イ		Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。			
2学期	響きの美しさを味わおう	●諸外国の様々な合唱の特徴から音楽の多様性を理解して、アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴いたり、表現を工夫して合唱したりする。 ●和音の移り変わりを感じ取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。	鑑賞—ウ		アカペラの合唱曲	アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚
			歌唱—ウ		Kum Ba Yah	アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。		
			創作—ア		My Melody	和音の音を使って旋律をつくろう。		
	日本の歌やカンツォーネの よさや美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌やカンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 荒城の月 (共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	4	3 (2) 自然の愛護、畏敬の念
			歌唱—ア、イ		サンタルチア	曲想を生かして表情豊かに歌おう。		
			歌唱—ア、ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
オペラの特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア、イ		「アイーダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	2	2 (5) 寛容、謙虚 4 (10) 世界の平和、人類の幸福	
歌舞伎の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。	鑑賞—ア、イ、ウ		「勧進帳」から	日本の伝統芸能に親しもう。—歌舞伎—	3	4 (9) 愛国心、伝統の継承 2 (5) 寛容、謙虚	
		歌唱—イ		長唄「勧進帳」から	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。			
3学期	日本の郷土芸能や伝統音楽の 特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	鑑賞—イ、ウ		日本の郷土芸能/ 受け継ごう！郷土の芸能	人々の暮らしの中で受け継がれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。	4	4 (8) 郷土愛 4 (9) 愛国心、伝統の継承
			器楽—ア、イ		◆さくらさくら (p.80)	いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう。		
			器楽—ア、ウ		◆「寄せの合方」による リズムアンサンブル (p.84)	日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう。		
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりや、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア、ウ		心通う合唱	仲間と一っしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。	4	1 (5) 自己の向上、充実した生き方 4 (4) 役割と責任の自覚 他	
				指揮をしてみよう！	指揮をするときのポイントをつかもう。			
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心、伝統の継承	

●…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ …強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 ◆…器楽教材 (中学生の器楽)

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)	道徳との関連 (例)
前期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		夢の世界を BINGO GAME RHYTHM GAME	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。 音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	4	2 (3) 友情の尊さ、信頼
			器楽—イ		◆アルトリコーダー LESSON2, 3 (p.10～15)	リコーダーを演奏しよう。		
	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●曲想を味わい、パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	歌唱—ア、ウ		翼をください My Voice!	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。 自分の思いを歌声にのせよう!	6	1 (2) 希望、勇気、強い意志 4 (4) 役割と責任の自覚
			器楽—ウ		◆ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。		
			器楽—ア、ウ		◆Edelweiss (p.56) / 春 (p.57) 他	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。		
詩と音楽とのかかわりを理解して、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		心の歌 夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	3 (2) 自然の愛護、畏敬の念 1 (5) 自己の向上、充実した生き方	
		歌唱—ア		メッセージ	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。			
響きの美しさを味わおう	●諸外国の様々な合唱の特徴から音楽の多様性を理解して、アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴いたり、表現を工夫して合唱したりする。 ●和音の移り変わりを感じ取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。	鑑賞—ウ		ア カペラの合唱曲	アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚	
		歌唱—ウ		Kum Ba Yah	アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。			
		創作—ア		My Melody	和音の音を使って旋律をつくらう。			
オペラの特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア、イ		「アイダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	2	2 (5) 寛容、謙虚 4 (10) 世界の平和、人類の幸福	
曲の構成を理解して、 曲想を味わおう	●曲想の変化を味わい、速度の違いや変化によって生み出される効果を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、パイプオルガンの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもとなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復・変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	歌唱—ア		花の季節	速度の変化を工夫して歌おう。	5	4 (4) 役割と責任の自覚 4 (6) 家族愛	
		鑑賞—ア		フーガ ト短調	旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう。			
		創作—イ		Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくらう。			
日本の歌のよさや美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 荒城の月 (共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	2	3 (2) 自然の愛護、畏敬の念	
		歌唱—ア、ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。			
日本の伝統芸能や世界の諸民族の 音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●文楽の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。 ●尺八【三味線】*の特徴や基礎的な奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 ※尺八もしくは三味線 ●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—ア、イ、ウ		「新版歌祭文」“野崎村の段”から	日本の伝統芸能に親しもう。一文楽(人形浄瑠璃)―	6	4 (9) 愛国心、伝統の継承 2 (5) 寛容、謙虚 4 (10) 世界の平和、人類の幸福	
		歌唱—イ		長唄「勸進帳」から	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。			
		器楽—イ		◆夕やけこやけ (p.45) 【さくらさくら (p.37)】	尺八【三味線】を演奏しよう。			
		鑑賞—イ、ウ		世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。			
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア、ウ		心通う合唱	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。	4	1 (5) 自己の向上、充実した生き方 4 (4) 役割と責任の自覚 他	
				指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。			
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心、伝統の継承	

●…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ …強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 ◆…器楽教材(中学生の器楽)

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)	道徳との関連 (例)
1 学期	日本の歌のよさや美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 花 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	4	3 (2) 自然の愛護, 畏敬の念
			歌唱—ア		My Voice! 心の歌 早春賦 (共通教材)	豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう。		
	曲想や語感を生かして、 表現を工夫しよう	●曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		BINGO GAME RHYTHM GAME	音符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	3	2 (2) 人間愛, 思いやり
			歌唱—ア, イ		帰れソレントへ Yesterday	曲想を生かして表情豊かに歌おう。 英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。		
ポピュラー音楽の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●曲想の変化を味わい、音素材の特徴や構成を生かしてリズム伴奏を考えたり、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	鑑賞—イ, ウ		ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚	
		器楽—ア, ウ		◆ テキーラ (p.54) ◆ Yesterday (p.74)	曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう。 パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。			
言葉や音階の特徴を生かして、 表現を工夫しよう	●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	創作—ア		My Melody	歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	2	4 (7) 愛校心	
2 学期	パートの役割を理解し、曲想を 生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ		風の中の青春	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。	3	1 (2) 希望, 勇気, 強い意志 4 (10) 世界の平和, 人類の幸福
	歌唱—ア, ウ		フィンランディア	アカベラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。				
	音楽の特徴や背景を理解して、 その魅力を味わおう	●音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア		組曲「展覧会の絵」から	曲のよさをプレゼンテーションしよう。	3	2 (3) 友情の尊さ, 信頼 4 (10) 世界の平和, 人類の幸福
			鑑賞—イ		ブルタバ (モルダウ)	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。		
	曲の構成を理解して、 リズムアンサンブルの表現を 工夫しよう	●全体のまとまりを考えて表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かしながら、それらの組み合わせ方や反復、変化、対照などの構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくる。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きや構成を考えながら音の組み合わせ方や重ね方など、表現を工夫してリズムアンサンブルをする。	創作—イ		Let's Create!	構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚
			器楽—ウ		◆ 打楽器のための小品 (p.78)	楽器の組み合わせ方や音の重ね方を工夫して、響きのおもしろさを味わおう。		
雅楽や能の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●謡にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して謡う。	鑑賞—ア, イ, ウ		平調「越天楽」— 管絃 —	日本の伝統芸能に親しもう。— 雅楽 —	4	2 (5) 寛容, 謙虚 4 (9) 愛国心, 伝統の継承	
		鑑賞—ア, イ, ウ		「羽衣」から	日本の伝統芸能に親しもう。— 能 —			
		歌唱—イ		能「羽衣」から	声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。			
3 学期	世界の諸民族の音楽の特徴を 理解して、その魅力を味わおう	●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—イ, ウ		世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。	2	4 (10) 世界の平和, 人類の幸福
	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア		きみとともに	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。	6	2 (3) 友情の尊さ, 信頼 4 (4) 役割と責任の自覚 他
			歌唱—ア, ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
			歌唱—ア, ウ		心通う合唱	仲間と一しょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。		
				指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。			
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心, 伝統の継承	

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 ◆ … 器楽教材 (中学生の器楽)

※「特集ルールを守って音楽を楽しもう!」については、適宜指導計画に含める。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)	道徳との関連 (例)
前期	詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、詩に込められた思いと旋律や強弱とのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	歌唱—ア		心の歌 花の街 (共通教材)	詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌おう。	4	4 (10) 世界の平和, 人類の幸福
					My Voice!	豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう!		
					BINGO GAME	音符、記号などの名前を確認しましょう。		
			創作—ア		RHYTHM GAME	下の図を使ってリズムをつくりましょう。		
					My Melody	歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。		
	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ		風の中の青春	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。	3	1 (2) 希望, 勇気, 強い意志 4 (10) 世界の平和, 人類の幸福 4 (4) 役割と責任の自覚
			歌唱—ア, ウ		フィンランディア	アカベラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。		
	曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、表現を工夫しよう	●曲想を味わい、その音楽にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して歌う。	歌唱—ア, イ		Yesterday	英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。	3	2 (2) 人間愛, 思いやり
			歌唱—イ		能「羽衣」から	声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。		
	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●曲想の変化を味わい、音素材の特徴や構成を生かしてリズム伴奏を考えたり、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	鑑賞—イ, ウ		ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚
器楽—ア, ウ				◆ テキーラ (p.54)	曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう。			
器楽—ア, ウ				◆ 美女と野獣 (p.61) / 海の見える街 (p.62) 他	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。			
音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	●音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—イ		ブルタバ (モルダウ)	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。	4	4 (10) 世界の平和, 人類の幸福	
		鑑賞—ア, イ			「レクイエム」から 「ラクリモサ (涙の日)」			曲の背景を知って、名曲を味わおう。
					エチュード ハ短調 (「革命」)			
					「アランフェス協奏曲」から 第2楽章			
			ノヴェンバー ステップス					
曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	●全体のまとまりを考えて表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かしながら、それらの組み合わせ方や反復、変化、対照などの構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくる。 ●パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して、リズムの変化や重なり方に着目しながら、表現を工夫してリズムアンサンブルをする。	創作—イ		Let's Create!	構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	4	4 (4) 役割と責任の自覚	
		器楽—ウ		◆ クラッピング ラプソディ 第1番 (p.76)	リズムの変化や重なり方に注目しながら、リズムアンサンブルを楽しもう。			
日本の伝統芸能の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア, イ, ウ		平調「越天楽」— 管絃 —	日本の伝統芸能に親しもう。— 雅楽 —	3	2 (5) 寛容, 謙虚 4 (9) 愛国心, 伝統の継承	
		鑑賞—ア, イ, ウ		「羽衣」から	日本の伝統芸能に親しもう。— 能 —			
世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—イ, ウ		世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。	2	4 (10) 世界の平和, 人類の幸福	
日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。 ●明治から現代に至るまでの日本の音楽の変遷と、西洋音楽からの影響、日本から世界への音楽の発信について知る。	歌唱—ア		心の歌 花 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	3 (2) 自然の愛護, 畏敬の念 4 (9) 愛国心, 伝統の継承	
				特集 国境を越えて影響し合う音楽				
仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア		きみとともに	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。	6	2 (3) 友情の尊さ, 信頼 4 (4) 役割と責任の自覚 他	
		歌唱—ア, ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。			
		歌唱—ア, ウ		心通う合唱	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。			
		歌唱—ア, ウ		指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。			
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					国歌 君が代		4 (9) 愛国心, 伝統の継承	

…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ …強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 ◆ …器楽教材 (中学生の器楽)

※「特集 ルールを守って音楽を楽しもう!」については、適宜指導計画に含める。

第1学年

教材と学習指導要領との関連

◎は「音楽学習 MAP」に示したもので、
○より強い関連を示しています。

		学習指導要領の内容												
		A 表現				B 鑑賞				〔共通事項〕				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)						
		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア				イ		
		歌詞の内容や曲想				我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽				音楽を形づくっている要素とそれらの働き(例示)				用語や記号
4	We'll Find The Way ～はるかな道へ	◎	○	○									リズム、旋律	○
6	BINGO GAME													○
7	RHYTHM GAME												リズム	○
8	My Voice!		○										音色	
10	主人は冷たい土の中に	◎	○	○	○	○							リズム、旋律、形式、構成	○
13	エーデルワイス	◎	○	◎									リズム、旋律	○
14	Michael, Row The Boat Ashore	○	◎	◎									音色、テクスチャ	○
16	浜辺の歌 (共通教材)	◎	○										リズム、旋律、強弱	○
18	パフ	○	○	◎									音色、テクスチャ	○
20	朝の風に	○	○	◎									リズム、テクスチャ	○
22	飛び出そう 未来へ	◎	○	○									リズム、旋律	○
24	赤とんぼ (共通教材)	◎	○										旋律、強弱	○
26	カリブ 夢の旅	◎	○	◎									速度、強弱、(形式)、構成	○
29	ジョーズのテーマ									◎	○		音色、リズム、速度、旋律、強弱	○
30	Let's Create!			○	○	◎							音色、テクスチャ、強弱、(形式)、構成	○
32	春									◎	◎	○	音色、旋律、強弱、形式、構成	○
36	魔王									◎	○	○	音色、旋律、強弱	○
40	箏曲「六段の調」									○	◎	◎	音色、速度、旋律	○
42	尺八曲「巢鶴鈴慕」									○	◎	◎	音色、リズム、速度、旋律	○
44	日本の民謡									○	◎	◎	音色、リズム、旋律、形式、構成	○
46	ソーラン節	○	◎	○						○	○		音色、旋律	○
48	My Melody	○			◎								リズム、旋律	○
50	アジアの諸民族の音楽									○	◎	◎	音色、リズム、速度、旋律	○
52	指揮をしてみよう!	○	○										リズム、速度、強弱	○
54	夕焼小焼	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
56	ふるさと	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
58	Forever	○	○	○									リズム、旋律、(形式)、構成	○
59	いつか	○	○	○									旋律、強弱、(形式)、構成	○
60	unlimited (アンリミテッド)	○	○	○									旋律、強弱	○
62	てのひら	○	○	○									旋律、テクスチャ	○
64	星座	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
66	夢を追いかけて	○	○	○									旋律、(形式)、構成	○
68	マイ パラード	○	○	○									速度、リズム、旋律、(形式)、構成	○
70	あすという日が	○	○	○									リズム、旋律、テクスチャ、(形式)、構成	○
72	青春の1ページ	○	○	○									旋律、テクスチャ	○
74	Let's Search For Tomorrow	○	○	○									旋律、強弱	○
76	音楽の約束													○
80	君が代	○	○											

第2学年

<2・3上>

教材と学習指導要領との関連

◎は「音楽学習 MAP」に示したもので、
○より強い関連を示しています。

		学習指導要領の内容												
		A 表現				B 鑑賞				〔共通事項〕				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)						
		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア				イ		
		歌詞の内容や曲想				我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽				音楽を形づくっている要素とそれらの働き(例示)				用語や記号
4	夢の世界を	◎	○	○									リズム、テクスチャ、(形式)、構成	○
6	BINGO GAME													○
7	RHYTHM GAME												リズム	○
8	翼をください	◎	○	◎									リズム、テクスチャ、(形式)、構成	○
11	My Voice!		○										音色	
12	夏の思い出 (共通教材)	◎	○	○									旋律、強弱	○
14	夏の日の贈りもの	◎	○	◎									旋律、強弱	○
18	ア カベラの合唱曲									○	○	◎	音色、テクスチャ	○
19	Kum Ba Yah	○	○	◎									音色、テクスチャ	○
20	荒城の月 (共通教材)	◎	○										旋律	○
22	メッセージ	◎	○	○									旋律、強弱	○
24	サンタルチア	◎	◎										音色、旋律、強弱	○
26	花の季節	◎	○	○									速度、(形式)、構成	○
28	My Melody	○		○									旋律	○
30	Let's Create!		○	○									リズム、テクスチャ、(形式)、構成	○
32	フーガト短調									◎	○	○	音色、テクスチャ、形式、構成	○
34	交響曲第5番 八短調									◎	○	○	音色、リズム、旋律、形式、構成	○
38	「アイーダ」から									◎	◎	○	音色、旋律、テクスチャ	○
42	「勳進帳」から									◎	◎	◎	音色、リズム、速度、旋律	○
44	長唄「勳進帳」から	○	◎								○		音色、旋律	○
46	「新版歌祭文」“野崎村の段”から									◎	◎	◎	音色、リズム、速度、旋律	○
48	日本の郷土芸能/受け継ごう! 郷土の芸能									○	◎	◎	音色、リズム、旋律	○
52	世界の諸民族の音楽									○	◎	◎	音色、速度、旋律	○
54	指揮をしてみよう!	○	○										リズム、速度、強弱	○
56	夏は来ぬ	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
58	ふるさと	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
60	今この時	○	○	○									旋律、強弱、(形式)、構成	○
62	さくら草	○	○	○									旋律、強弱、(形式)、構成	○
64	風をみつめて	○	○	○									リズム、旋律、テクスチャ	○
66	心の中にきらめいて	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成	○
68	今日は君のBirthday	○	○	○									旋律、テクスチャ、強弱	○
70	大切なもの	○	○	○									旋律、強弱、(形式)、構成	○
72	時の旅人	○	○	○									速度、旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成	○
76	蛍の光	○	○	○									旋律、強弱	○
77	音楽の約束													○
80	君が代	○	○											

第3学年

〈2・3下〉

教材と
学習指導要領
との関連

◎は「音楽学習 MAP」に示したもので、
○より強い関連を示しています。

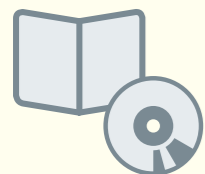
頁	教材名	学習指導要領の内容															
		A 表現				B 鑑賞				〔共通事項〕							
		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)									
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア				イ				
		歌詞の内容や曲想	曲種に応じた発声、言葉の特性	声部の役割と全体の響きとのかかわり	楽器の特徴、基礎的な奏法	声部の役割と全体の響きとのかかわり	言葉や音階などの特徴、旋律	イメージ、音楽材の特徴、反復、変化、対照などの構成	我が国及び諸外国の様々な音楽	(イ) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱	我が国で長く歌われ親しまれている歌曲	要素や構造と曲想とのかかわり、根拠をもって批評	背景となる文化・歴史や他の芸術と関連	我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽	我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽	音楽を形づくっている要素とそれらの働き(例示)	用語や記号
4	花(共通教材)	◎	○	○											旋律、強弱		○
8	BINGO GAME																○
9	RHYTHM GAME														リズム		○
10	風の中の青春	○	○	◎											旋律、テクスチャ、強弱		○
12	花の街(共通教材)	◎	○												旋律、強弱		○
15	My Voice!		○												音色		
16	帰れソレントへ	◎	○												速度、旋律、強弱		○
18	Yesterday	◎	◎	○											音色、リズム、旋律		○
20	きみとともに	◎	○	○											旋律、強弱		○
22	早春賦(共通教材)	◎	○												リズム、強弱		○
25	フィンランディア	◎	○	◎											音色、テクスチャ		○
26	My Melody	○					◎								リズム、旋律		○
28	Let's Create!				○	○	◎								音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成		○
30	組曲「展覧会の絵」から								◎	○	○	○			音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成		○
32	ブルタバ(モルダウ)								○	◎	○	○			音色、速度、旋律、強弱		○
34	「レクイエム」から他								◎	◎	○	○			音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱		○
36	平調「越天楽」—管絃—								◎	◎	◎	○			音色、旋律、テクスチャ		○
40	「羽衣」から								◎	◎	◎	○			音色、リズム、速度、旋律		○
42	能「羽衣」から	○	◎						○						音色、リズム、旋律		○
44	世界の諸民族の音楽								○	◎	◎	○			音色、リズム、速度、旋律		○
46	ポピュラー音楽								○	◎	◎	○			音色、リズム、旋律、テクスチャ		○
48	国境を越えて影響し合う音楽									○							
50	ルールを守って音楽を楽しもう!								〔内容の取扱い〕2(7)ウ				音楽に関する知的財産権				
52	指揮をしてみよう!	○	○												リズム、速度、強弱		○
54	ふるさと	○	○	○							○	○			旋律、テクスチャ、強弱		○
56	青空	○	○	○											リズム、旋律、テクスチャ		○
58	いつまでも	○	○	○											旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
61	美しい約束	○	○	○											速度、リズム、旋律、テクスチャ、強弱		○
64	旅立ちの日に	○	○	○											速度、旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
66	大地讃頌	○	○	○											旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
68	名づけられた葉	○	○	○											旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
72	揚げば尊し	○	○	○											リズム、旋律、強弱		○
73	音楽の約束																○
74	耳でたどる音楽史									○	○	○					
80	君が代	○	○								○	○					

器楽

教材と
学習指導要領
との関連

◎は「音楽学習 MAP」に示したもので、
○より強い関連を示しています。

頁	教材名	学習指導要領の内容															
		A 表現				B 鑑賞				〔共通事項〕							
		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)									
ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア				イ				
		歌詞の内容や曲想	曲種に応じた発声、言葉の特性	声部の役割、全体の響き	楽器の特徴、基礎的な奏法	声部の役割、全体の響き	言葉や音階などの特徴、旋律	イメージ、音楽材の特徴、反復、変化、対照などの構成	我が国及び諸外国の様々な音楽	(イ) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱	(ア) 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲	要素や構造と曲想とのかかわり、説明・批評	背景となる文化・歴史や他の芸術と関連	我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽	我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽	音楽を形づくっている要素とそれらの働き(例示)	用語や記号
3	リコーダーを演奏しよう。				○	◎	○								音色、旋律、テクスチャ		○
16	ギターを演奏しよう。				○	◎	○								音色、リズム、旋律、テクスチャ		○
24	箏を演奏しよう。	○	○		○	◎									音色、旋律		○
31	My Melody				○	○		◎							リズム、旋律、(形式)、構成		○
32	三味線を演奏しよう。				○	◎									音色、旋律		○
38	太鼓を演奏しよう。				○	◎									音色、リズム		○
42	篠笛を演奏しよう。				○	◎									音色、旋律		○
44	尺八を演奏しよう。				○	◎									音色、旋律		○
46	打楽器を演奏しよう。					◎									音色、リズム		○
50	聖者の行進				◎	○	○								旋律、テクスチャ		○
52	ラヴァーズ コンチェルト				○	○	◎								音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱		○
54	テキーラ				◎	○	◎								音色、リズム、テクスチャ、(形式)、構成		○
56	Edelweiss				○	○	○								旋律、テクスチャ		○
57	春				○	○	○								音色、旋律、テクスチャ		○
58	星の世界				○	○	○								音色、テクスチャ		○
59	大きな古時計				○	○	○								テクスチャ、(形式)、構成		○
60	ジュッディン デデン				○	○	○								音色、リズム、旋律		○
61	美女と野獣				○	○	○								旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
62	海見える街				○	○	○								旋律、テクスチャ、強弱、(形式)、構成		○
64	トリスターザ				○	○	○								音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱		○
66	ブルタバ(モルダウ)				○	○	○								リズム、旋律、テクスチャ		○
68	コンドルは飛んで行く				○	○	○								リズム、旋律、テクスチャ		○
70	Yesterday Once More				○	○	○								旋律、テクスチャ、(形式)、構成		○
72	テキーラ				○	○	○								音色、リズム、テクスチャ、(形式)、構成		○
74	Yesterday				○	○	○								音色、リズム、旋律、テクスチャ		○
76	クラッピング ラブソディ 第1番				○	○	○								リズム、テクスチャ、(形式)、構成		○
78	打楽器のための小品				○	○	○								音色、リズム、テクスチャ、強弱		○
80	さくらさくら				○	○	○								音色、旋律、テクスチャ		○
81	風にのって				○	○	○								音色、リズム、テクスチャ、(形式)、構成		○
82	MATSURI				○	○	○								音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱		○
84	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル				○	○	○								音色、リズム、速度、テクスチャ		○
86	名曲スケッチ				○	○									リズム、旋律		○
□絵7	音楽の約束																○



指導書の全体構成と特色

様々な資料と音源で、授業や学習活動を多角的にサポートします！
指導書には、次のような内容がセットされています。

書籍

中学生の音楽



1【実践編】

赤字入り教科書ページ
など

指導に直接かかわるポイントや留意点を、学習内容に沿って示しています。主に実際の授業で役立つ手近な資料としてご利用いただける一冊です。



2【研究編】

年間学習指導計画例、教材研究（教材解説、評価規準例、学習の流れの例）、鑑賞資料、参考資料など

指導計画の作成や学習展開の立案などに役立つ資料を掲載しています。主に事前の授業研究をサポートする資料としてご利用いただける一冊です。



3【伴奏編】

教材曲の伴奏譜、移調伴奏譜、参考曲など

各教材曲の伴奏譜、参考曲を掲載しています。
また、必要に応じて移調楽譜や曲態の異なる楽譜なども取り上げています。

CD 他

中学生の器楽

1【実践編】	赤字入り教科書ページ など
2【研究・伴奏編】	指導事例（学習内容、評価規準例、学習の流れの例）、楽曲解説、参考資料、教材曲の伴奏譜、参考曲 など

中学生の音楽

1【指導用 CD】	すべての歌唱教材曲の範唱、伴奏（カラピアノ）、カラオケ（一部教材のみ）、授業支援 DVD（仮称：主に我が国の伝統的な歌唱を収録予定）付き
2【合唱練習用 CD】	合唱教材曲のパート別演奏（教科書版 ONTA）
3【鑑賞用 CD】	すべての鑑賞教材曲の演奏、鑑賞参考曲の演奏

*「合唱練習用CD」は、教育芸術社の人気シリーズ「Chorus ONTA」の教科書版です。授業で活用するだけでなく、校内合唱コンクールの練習などにも便利なアイテムです。
*「鑑賞用CD」は、グラモフォン、ロンドンなどの世界的レーベルの演奏の他、優れた演奏音源を多数収録しています。また、鑑賞参考曲もたいへん豊富な内容で、発展的な授業を行うことを可能にしています。

中学生の器楽

1【指導用 CD】	すべての器楽教材曲の範奏、伴奏（カラピアノなど）、授業支援 DVD（仮称：和楽器などの奏法等を収録予定）付き
-----------	--

拡大教科書のご案内

弱視の生徒たちのために作成された教科書です。音楽を学習するうえで、たいへん重要な要素である「楽譜」の見やすさや使いやすさを第一に考え、楽譜のまとまりを見渡せるように配慮したレイアウトを採用しています。

*教育芸術社の拡大教科書は、教科書に掲載されているすべての要素を、見やすい大きさと配色によって、学習の順序を追いながら適切に配置しています。
特に、楽譜や歌詞、絵譜などを見やすく、かつ見通しをもって読み取ることができるように、290ミリ×290ミリという判型を採用しているのが特徴です。



デジタル教科書のご案内

「デジタル教科書」がリニューアルされます！

教科書紙面の音と情報が連動し、授業を強力にサポートします。

主な機能

- デジタル教科書の画面には、書き込みや画像データを貼り付けることができます。
- 簡単な操作で画面を拡大・縮小することができます。
- 教科書や資料のページに加えて、オリジナルのページを作成することができます。



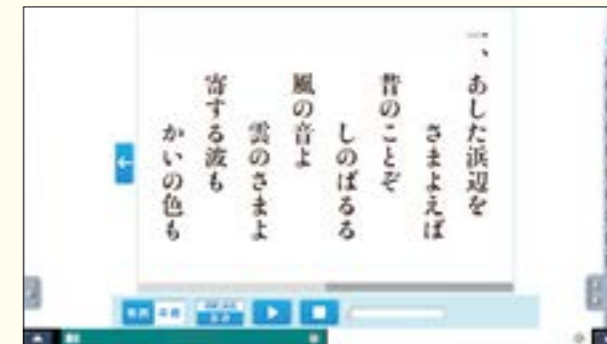
歌唱 1

歌唱教材では、楽譜を大きく表示することができます。合唱の曲ではパート別の音源を収録しており、再生するパートを選択して模範演奏を聴くことができます。



歌唱 2

歌詞を表示したり、共通教材(心の歌)では、詩の朗読を再生したりすることもできます。



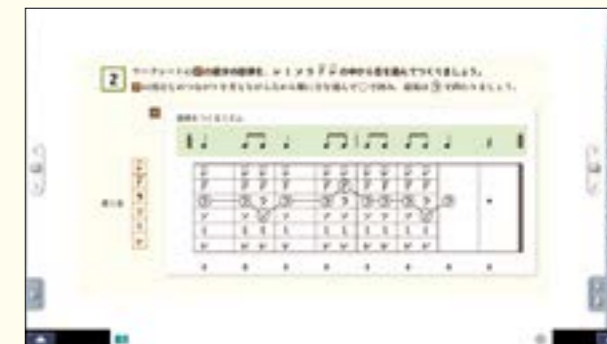
鑑賞

鑑賞教材では、教科書の譜例を大きく表示したり、それに対応する音源を聴いたりすることができます。そのほかに補助的な資料なども収録しています。



創作

創作教材では、実際の活動をサポートするコンテンツを収録しています。例えば、旋律をつくる学習では、選んだ音を再生することができます。



器楽

器楽教材では、ページの内容に合わせたコンテンツを収録しています。リコーダーの教材では、音と運指が連動します。和楽器の教材では、楽器の演奏方法を解説した動画資料なども収録しています。



※ここに掲載されているのは開発中の画面です。デザインや内容は変更になる場合があります。

中学生の音楽 検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	● 取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ
	● 教材は、生徒の心身の発達段階や生徒の能力の実態に適應しているか。	● 歌唱教材においては、歌詞あるいは楽曲の内容が生徒の心情的な発達段階に沿ったものであり、かつ合唱の編成や各パートの音域についても学年に応じて極めて適切に配慮されている。特に1年では、楽曲は変声期の声域に対応できるよう作編曲されており、学習を進めるうえで極めて適切である。 ● 鑑賞教材の取り上げ方は学年の実態に合わせて適切に配慮されている。 ● 創作の学習では、小学校の学習を継続、反復、発展させながら、生徒の発達段階に沿って系統的に内容が構成されている。	■各学年歌唱教材のページ 1年 p.4,5,10,11,13,14,18-23, 26,27 ■各学年鑑賞教材のページ ■1年 p.30,31,48,49 / 2年 p.28-31 / 3年 p.26-29
程度	● [共通事項] は、学習を進めるうえで適切に扱われているか。	● [共通事項] の学習は、そのみに特化することなく、表現及び鑑賞の各活動と一体となって機能的に組織されており、生徒が理解しやすい言葉を用いた文章で繰り返し示されるなどの配慮がなされている。 ● 「音楽学習 MAP」や各教材には [共通事項] に関連するアイコンが明示されており、各教材の学習目標及びそれにかかわる主な窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、[共通事項] との関連が図れるよう配慮されている。 ● 教材の内容と関連付けて基礎的・基本的な内容を学習できる「ここが分かれば Grade up!」「ここに注目してみよう!」などでは、歌唱や鑑賞の活動と結び付けながら[共通事項] を支えとした学習活動をスムーズかつ確実に進めることができるよう配慮されている。	■1年 p.4,5,8-75 2年 p.4,5,8-76 3年 p.4-7,10-47,52-72 ■各学年音楽学習 MAP 及び 1年 p.4-51 / 2年 p.4-53 / 3年 p.4-47 ■1年 p.12,20,21,28,38 2年 p.10,17,26,34,35 3年 p.11,31
	● 発展的な学習内容について、適切な配慮がなされているか。	● 学習指導要領に示された事項以外にも、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めるための動機となるよう、「この頃、日本では…!」などが適切に配慮されている。	■1年 口絵 4,p.34,39 2年 口絵 4,p.18,33,37,40 3年 口絵 4,p.32
〔共通事項〕	● 基礎的・基本的な内容の定着については、適切に配慮されているか。	● 「ここが分かれば Grade up!」「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」「My Voice!」「指揮をしてみよう!」などのコラムは、基礎的な学習内容を確認できるよう配慮されているだけでなく、2・3年でも同様に繰り返し確認できるように工夫されている。 ● 巻末の充実した楽典資料により、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習ができるよう適切に配慮されている。	■1年 p.6-9,12,20,21,28,52,53 2年 p.6,7,10,11,17,26,54,55 3年 p.8,9,11,15,52,53 ■1年 p.76-79, 口絵 5,6 / 2年 p.77-79 / 3年 p.73
	● 思考力・判断力・表現力をはぐくむ内容が扱われているか。	● 学習活動を進めるうえで、知覚・感受することをもとに「思考・判断・表現」を行っていくヒントを「吹き出し」で示しているほか、思考した内容を記述する場面も設定するなど、極めて適切なものとなっている。	■1年 p.12,20,28,29,31,38,48,49 2年 p.10,17,26,28,30,34,35 3年 p.11,27,29,31 など
内容	● 教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。 ● 生徒の心情に即した新鮮でアイデアに満ちた教材が用意されており、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。 ● 共通教材は「心の歌」と題して明確に示されている。	■各学年各ページ ■各学年各ページ ■1年 p.16,17,24,25 2年 p.12,13,20,21 3年 p.4-7,12-14,22-24
	● 生徒が興味・関心をもって、主体的、創造的な学習活動に取り組めるように工夫されているか。	● 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法及び学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。 ● 巻末のページでは楽典事項や鑑賞資料などをまとめて提示し、生徒が興味・関心を持ちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ● 地域に伝わる伝統芸能や、諸外国の民族音楽など学年段階に応じて幅広く学習できる教材が用意されている。	■各学年各ページ ■各学年各ページ ■各学年口絵 5-9 及び 1年 p.76-79 / 2年 p.77-79 / 3年 p.73-79 ■1年 p.44-47,50,51, 口絵 7-9 2年 口絵 3,4,p.18,19,48-53 3年 p.44,45, 口絵 8,9
全体	● 「創作」にかかわる学習活動が適切に取り組まれているか。	● 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、「My Melody」「Let's Create!」では学習指導要領に示されたア、イいずれの事項からも、無理なく取り組める教材が分かりやすい手順で示されている。 ● 授業時数や生徒の実態に応じて、弾力的な指導を展開できるよう配慮されている。	■1年 p.30,31,48,49 2年 p.28～31 3年 p.26～29
	● 我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	● 幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的にとらえられるよう工夫されている。日本の音環境という観点からも扱えるよう配慮されている。 ● 「心の歌」と銘打たれた共通教材では、我が国の文化や自然環境の保護などの視点から説明文や情景写真が用意されており、生徒の知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるよう配慮されている。	■1年 口絵 3,4,p.40-49, 口絵 7-9 2年 口絵 3,4,p.42-51, 口絵 8,9 3年 口絵 3,4,p.36-43, 口絵 5-7 ■1年 p.16,17,24,25 2年 p.12,13,20,21 3年 p.4-7,12-14,22-24

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
内容	● 我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	● 各学年に「歌い継ごう 日本の歌」として童謡や唱歌などが精選されて取り上げられており、全学年にわたって日本の歌を楽しみ、味わうことができるとともに、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるよう配慮されている。また、小学校の共通教材「ふるさと」が全校合唱としても扱える編曲で掲載されている。 ● 伝統芸能や民謡などは、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようなねらいが設定されており、学習のポイントをおさえながらも音楽的側面から親しめるよう配慮されている。	■1年 p.54-57 2年 p.56-59 3年 p.54,55 ■1年 p.40-49 2年 p.42-51 3年 p.36-43
	● 国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	● 歌唱教材や鑑賞教材において、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材などが適切に配置されている。 ● 心の触れ合いの大切さを味わえる合唱教材を取り上げるなど、道徳との関連にも行き届いた配慮がなされている。 ● 音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について、「なぜルールを守らなければならないのか」という視点で分かりやすく説明されている。	■1年 p.10-15,18,19,29-39,50,51 2年 p.18,19,24-27,32-41,52,53 3年 p.16-19,25,30-35,44-47 ■1年 p.22,23,26,27,56-75 2年 p.4,5,58,59,66-75 3年 p.18-21,54,55,58-60, 64,65,72 ■3年 p.50,51
全体の構成	● 小学校における学習内容との系統性・一貫性が配慮されているか。	● 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る意味で極めて適切な内容となっている。 ● 1年に小学校の基礎的な学習内容を確認するページが用意されているだけでなく、2・3年でも同様に繰り返し確認できるよう工夫されている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ ■1年 p.6,7 / 2年 p.6,7 / 3年 p.8,9
	● 各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	● 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、「音楽学習 MAP」や各教材においては題材設定のヒントとなる〔共通事項〕に関連するアイコンが示されているなど細かい配慮がなされている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ
表記・体裁・装丁	● 教材は系統的・発展的に組織されているか。	● 学習指導要領に示されている各学年の学習内容を踏まえ、目次や「音楽学習 MAP」に示された学習の目標及びそれにかかわる主な窓口と関連付けながら、各学年、全学年を通して教材が系統的・発展的に組織されている。 ● 階名唱、合唱、創作などの系統は、小学校における学習状況や各学年の発達段階を考慮した無理のないものとなっており、それらの各活動は〔共通事項〕に示された内容の学習と一体となって機能的に組織されている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ ■各学年歌唱・創作教材のページ
	● 教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	● 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。 ● 関連する表現教材と鑑賞教材は、効果的な学習が期待できるよう配列されている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ ■1年 p.29-30,44-49 / 2年 p.18-19,p.42-45 / 3年 p.40-43
表記・体裁・装丁	● 教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 全体を通して、過不足ない分量が取り扱われているとともに、各教材の学習内容が明確に示されていることから、それに即した活動の具体的な手だてやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられ、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。 ● ねらいに即した学習内容や関連教材が有機的に組織されており、教材の学習活動の分量を適切に増減できるよう配慮されている。 ● 文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で、文章量も適切なものとなっている。	■各学年目次・音楽学習 MAP 及び各学年各ページ
	● 内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。 ● イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。	■各学年各ページ
表記・体裁・装丁	● ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	● 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ● 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習に必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。	■各学年各ページ
	● 全体の体裁は教科書として適切であるか。	● A4 変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすいうえ、レイアウトも美しく統一感があり、楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。 ● 表紙は音楽科の学習内容を示唆するものを素材として用いながら、グローバルな時代を見据え、日本と西洋の音楽を幅広く学習してほしいという願いを込めた体裁となっている。	■各学年各ページ ■各学年表紙
表記・体裁・装丁	● 印刷・製本などは適切であるか。	● 全ページにわたって美しい4色刷りで、文字・イラスト・写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするため黒色が光らないよう工夫されている。 ● 製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ● 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。	■各学年全ページ

中学生の器楽 検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	■目次・音楽学習 MAP 及び各ページ
程度	●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適應しているか。	●楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切に配慮されている。 ●特に前半の各楽器のコーナーにおいては、生徒の実態に合わせて基礎的な技能を習得できるよう、きめ細かな配慮がなされている。	■各ページ ■p.3-49
〔共通事項〕	●〔共通事項〕は、学習を進めるうえで適切に扱われているか。	●「音楽学習 MAP」には〔共通事項〕と関連のあるアイコンが明示されており、各教材の学習目標、及びそれにかかわる主な窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、〔共通事項〕との関連が図れるよう配慮されている。 ●教材の内容と関連付けて、基礎的・基本的事項を学習できる「ここが分かれば Grade up!」のコラムが適切に配置されており、思考力・判断力・表現力を高めるための学習活動ができるよう配慮されている。 ●特に「アンサンブルセミナー」のコーナーにおいては、器楽の活動を通して、〔共通事項〕を支えとした学習を、スムーズかつ確実に進められるよう配慮されている。また、〔共通事項〕のみに特化する偏った学習とならないよう、用語そのものを学ぶのではなく学習活動として示すなどの配慮も極めて適切である。 ●「アンサンブル」のコーナーにおいても、各教材を扱うポイントとして〔共通事項〕と関連するコメントが付けられており、単に演奏するだけでなく学習の深化を図れるよう配慮されている。	■音楽学習 MAP 及び p.3-55 ■p.51,53,55 ■p.50-55 ■p.56-85
	●発展的な学習内容について、適切な配慮がなされているか。	●学習指導要領に示された事項以外にも、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めるための動機となるように「楽器と出会う」のコラムが掲載されており、極めて適切に配慮されている。	■口絵 1,2
内容	●基礎的・基本的な内容の定着については、適切に配慮されているか。	●楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な力の定着に配慮されている。 ●「Q & A」「音を聴いて確かめよう」「ここが分かれば Grade up!」などのコラムでは、小学校で身に付けたこと、あるいは音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるよう工夫されている。	■p.3-49 ■p.5-7,10,11,18,19,27,31,36,41,43,45,48,51,53,55
	●思考力・判断力・表現力をはぐくむ内容が扱われているか。	●「アンサンブルセミナー」のコーナーにおいては、学習活動を進めるうえで「思考・判断・表現」を行っていくヒントを「吹き出し」で示しているほか、思考した内容を記録したり表現したりする方法にも触れており、極めて適切である。 ●「ここが分かれば Grade up!」などのコラムは、表現活動を通して思考力・判断力をはぐくむ場面も設定されている。	■p.50-55 ■p.51,53,55
	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、生徒が意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。 ●リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器、打楽器が、豊富な写真を用いて扱われている。巻頭には楽器奏者の写真とコメントなどが掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるのに極めて適切な内容となっている。 ●各楽器の扱いについては、基礎的な内容に重点を置きながら、創作などの学習に活用できる内容も適切に取り上げられている。	■各ページ ■口絵 1,2,p.3-49 ■p.3-49,54,55
	●生徒が興味・関心をもって、主体的、創造的な学習活動に取り組めるように工夫されているか。	●生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、及び学習に必要な情報を明確に示すなど、適切な工夫がなされている。 ●「楽器を知ろう」「Q&A」「音を聴いて確かめよう」「和楽器こぼれ話」「演奏のポイント」「練習のポイント」などのコラムでは生徒が興味・関心をもって学習を進められるよう配慮されている。	■各ページ ■p.3,5-7,10,11,16,18,19,24,25,27-29,31-33,35-38,41-45,48,80,82-85
	●「創作」にかかわる学習活動が適切に取り扱われているか。	●箏や打楽器を用いて無理なく行える創作にかかわる活動が設定されている。手順も丁寧に示されており、極めて適切なものとなっている。	■p.31,54,55
	●我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	●和楽器のコーナーにおいては、楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などについての情報も掲載され、適切に配慮されている。また、それぞれの楽器を用いた楽曲の鑑賞も取り上げられており、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から極めて適切なものとなっている。	■p.24-45
	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●文章や楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮が行き届いている。	■各ページ
	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4 変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすいよう、レイアウトも美しく統一感があり、楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。 ●表紙は音楽科の学習内容を示唆するものを素材として用いながら、グローバルな時代を見据え、日本と西洋の音楽を幅広く学習してほしいという願いを込めた体裁となっている。	■各ページ ■表紙
表記・体裁・装丁	●印刷・製本などは適切であるか。	●全ページにわたって美しい4色刷りで、文字・イラスト・写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするため黒色が光らないよう工夫されている。 ●製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。	■全ページ

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
内容	●我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	●和楽器を用いた平易なアンサンブル曲が取り上げられており、我が国の伝統音楽のよさを主体的に味わえるよう配慮されている。 ●巻頭・巻末の資料では、我が国の伝統的な音楽への興味・関心をもって学習できるよう適切に配慮されている。	■p.80-85 ■口絵 1,2,4,8
	●国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	●様々なアンサンブル活動を通して、協力しながら学習を進められるほか、争のコーナーにおいては、「姿勢と礼儀」についても触れられているなど、適切に配慮されている。 ●諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、様々な国の楽器や楽曲を取り上げている。	■p.26,50-85 ■口絵 3,p.3-23,46-61,64-75,86-89
全体の構成	●小学校における学習内容との系統性・一貫性が配慮されているか。	●小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫るという意味で極めて適切な内容となっている。	■目次・音楽学習 MAP 及び各ページ
	●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	●各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、「アンサンブルセミナー」では〔共通事項〕に関連する学習活動、「アンサンブル」では同じく〔共通事項〕に関連する学習活動のポイントといった題材設定のヒントが示されているなど、適切に配慮されている。 ●「音楽学習 MAP」においては学習指導要領に示されている各学年の学習内容や〔共通事項〕に関連するアイコンが示されているなど細かい配慮がなされており、指導計画を立てるうえで適切なものとなっている。 ●いろいろな楽器編成に対応できるよう編曲上の工夫がなされており、極めて適切なものとなっている。	■目次・音楽学習 MAP 及び各ページ ■音楽学習 MAP ■p.50-55,78,79
	●教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	●様々な楽器及び楽曲の特徴に合った、効果的な選曲や配列がなされており、極めて適切である。	■目次・音楽学習 MAP 及び各ページ
	●教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	●各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。 ●全体を通して、過不足のない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されているとともに、それに即した活動の具体的な手だてやヒントなどが分かりやすく適切に取り上げられており、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。 ●文章は生徒に分かりやすく丁寧かつ簡潔で、文章量も適切なものとなっている。	■目次・音楽学習 MAP 及び各ページ
表記・体裁・装丁	●内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進めるうえで適切であるか。	●楽譜や文章などの記述に誤りがなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。 ●イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう、生徒の感性に即して適切に扱われている。 ●楽譜は全体的にたいへん見やすく、和楽器においては、五線譜と和楽器固有の記譜法を併記するなど、様々な指導実態に適應できるよう配慮されている。 ●説明文は簡潔かつ明瞭であり、全体にわたって美しく分かりやすい写真が豊富に用いられているので、学習指導を進めるうえで極めて効果的である。	■各ページ
	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●文章や楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮が行き届いている。	■各ページ
表記・体裁・装丁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4 変形判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすいよう、レイアウトも美しく統一感があり、楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、教科書として極めて適切なものとなっている。 ●表紙は音楽科の学習内容を示唆するものを素材として用いながら、グローバルな時代を見据え、日本と西洋の音楽を幅広く学習してほしいという願いを込めた体裁となっている。	■各ページ ■表紙
	●印刷・製本などは適切であるか。	●全ページにわたって美しい4色刷りで、文字・イラスト・写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするため黒色が光らないよう工夫されている。 ●製本は開きがよく、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。	■全ページ

平成 28 教
内容解説資料

著作者

[監修]

小原光一(元横浜国立大学教授)
飯沼信義(桐朋学園大学名誉教授)
浦田健次郎(東京芸術大学名誉教授)
[執筆・編集]
荻久保和明(作曲家)
黒澤吉徳(作曲家)
鹿谷美緒子(作曲家)
杉本竜一(作曲家)
滝口亮介(洗足学園音楽大学教授)
富澤 裕(合唱指揮者)
長谷部匡俊(作曲家)
吉澤 実(リコーダー奏者)

ほか3名
教育芸術社編集部

編集協力

青木彰時/伊藤多喜雄/今藤政太郎/今藤政子/大萩康司/
北中中和/児玉竜一/中村仁美/西川浩平/長谷川 慎/
ヒダノ修一/藤原道山/森重行敏/山本順之

色彩デザインに関する助言

色覚問題研究グループばすてる

特別支援教育に関する校閲

田中良広(国立特別支援教育総合研究所総括研究員)



本社

〒171-0051
東京都豊島区長崎1-12-15
TEL. 03-3957-1175(代)

中部支社

〒460-0024
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F
TEL. 052-678-3151(代)

関西支社

〒540-0003
大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601
TEL. 06-6943-7245(代)

西部支社

〒751-0808
下関市一の宮本町2-7-14
TEL. 083-256-4747(代)

ホームページ <http://www.kyogei.co.jp/>

※環境に配慮した紙を使用しています。

27 教芸

平成 28 年度
中学校用教科書
内容解説資料

中学生の
音楽

中学生の
器楽

727/827/828

774

中学生の音楽
中学生の器楽
内容解説資料



教育芸術社

